

平成 30 年度

事業報告書

(自) 平成30年 4月 1日

(至) 平成31年 3月31日

・法人事業報告	P. 1
・はしどい学園事業報告	P. 5
・さわらび学園事業報告	P.14
・自立センター事業報告	P.37

●平成30年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会事業報告

【 目 的 】

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう、創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことが出来るよう支援することを目的とする。

【経営の原則】

社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正におこなうために、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

平成30年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 法人運営表

	理事会・評議員会	監事会(監査)	役員研修会等	会議その他	関連事項
4月			会計実務者決算・財務分析講座 (北海道社会福祉法人経営者協議会)		
5月		平成29年度第4四半期 (決算)		第1回施設長会議 第1回運営検討委員会	
6月	第1回理事会 第1回定時評議委員会				決算・現況報告書開示
7月			社会福祉法人経営者セミナー (北海道社会福祉法人経営者協議会)	第2回施設長会議	
8月		平成30年度 第1四半期 (経理・運営全般)	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修 (北海道社会福祉法人経営者協議会)		
9月	第2回理事会		役員・評議員研修会	第3回施設長会議 第2回運営検討委員会	
10月	決議省略による評議員会				
11月		平成30年度 第2四半期 (経理・運営全般)			
12月	第3回理事会		役員・評議員研修会	第4回施設長会議 第3回運営検討委員会	
1月			社会福祉法人経営実務セミナー (北海道社会福祉法人経営者協議会)	第5回施設長会議	新年挨拶 第1回評議員選任・解任委員会
2月	決議省略による理事会	平成30年度 第3四半期 (経理・運営全般)	社会福祉法人経営実務セミナー (北海道社会福祉法人経営者協議会)	第4回運営検討委員会	
3月	決議省略による評議員会 第4回理事会			第6回施設長会議 第5回運営検討委員会	
備考			研修報告会(随時)	施設経営状況の開示(随時) 事業計画会議(随時)	

平成30年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 運営事業

釧路のぞみ協会															
自立センター								さわらび学園					はしどい学園		
指定相談支援事業所 自立センター	ジョブコーチ事業	くしろ・ねむろ障がい者 就業・生活支援センター ぷれん	自立センター グルーブホーム ブルミエ	くしろジョブ リカバリーセンター ぶろぐれ	くしろジョブ コミュニケーションセンター れぼぜ	くしろジョブ サポートセンター ぱさーじゅ	くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえⅡ	くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ	プロムナード釧路	社会就労センター らびい	障がい者支援施設 さわらび学園			はしどいワークラボりれいと	はしどい学園
・指定一般相談支援事業 ・指定特定相談支援事業 ・指定障害児相談支援事業	・訪問型職場適応援助者事業	・障がい者就業・生活支援センター事業	・共同生活援助事業 （介護サービス包括型） 定員 37 名	・自立訓練事業 定員 7 名	・就労継続支援B型事業 定員 33 名	・就労定着支援事業	・就労移行支援事業 定員 30 名 20 名	・共同生活援助事業 （介護サービス包括型） 定員 38 名	・就労継続支援B型事業 定員 30 名	・短期入所事業 定員 4 名	・生活介護事業 定員 40 名	・施設入所事業 定員 40 名	・就労継続支援B型事業 定員 20 名	・就労継続支援B型事業 定員 30 名	

平成30年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 事業報告

平成31年3月31日

【理事会】

開催日	主な協議事項	出席
平成30年6月7日	平成29年度各会計決算(案)について・平成30年度釧路のぞみ協会運営指針について・自立センター新事業所建設予定地の購入について・はしどいワークラボりれいと新築移転工事入札業者の選定について・その他(評議員会の日程について)	6名
平成30年9月27日	定款の一部変更について・	8名
平成30年12月20日	自立センター建設に係る入札について・平成30年度各拠点区分等補正予算(案)について・給与規程の一部改正(案)について・障がい者支援施設さわらび学園が行う地域生活支援拠点等について	5名
平成31年2月28日	定款変更と評議員会への提案	決議の省略
平成31年3月28日	平成30年度社会福祉施設に係る指導監査結果について・平成30年度各拠点区分等補正予算(案)について・平成31年度各拠点区分事業計画(案)について・平成31年度各拠点区分等資金収支予算(案)について・旅費規程の一部改正について・給与規程の一部改正について・育児・介護休業に関する規程の一部改正について・就業規則の一部改正について・準職員就業規程の一部改正について	6名

【評議員会】

開催日	主な協議事項	出席
平成30年6月21日	平成29年度各会計決算(案)について・その他	5名
平成30年10月12日	定款変更	決議の省略
平成31年3月13日	定款変更	決議の省略

【監査】

開催日	内容	主な指摘事項
平成30年5月8日	平成29年度決算	運営機構図の個人名・職員個々の業務分掌は必要ない 決算後の経営分析を行ってはどうか
平成30年8月27日	平成30年度第1四半期	グループホーム共益費の扱いについて重要事項説明書に記載
平成30年11月20日	平成30年度第2四半期	研修会を主催し予算を立てて支出した際は決算書も作成する書類の様式や記入の仕方を検討する
平成31年2月28日	平成30年度第3四半期	理事会議事録と資料は一緒に保管する 監査前に各拠点から報告事項等行ってはどうか

【会議等】

開催日	内容	主な協議事項
平成30年5月18日	平成30年度 第1回 施設長会議	平成29年度決算監査報告・平成29年度決算報告書について・社会福祉充実残額について・平成28年度事業報告書について・平成29年度消費税の按分について・平成29年度経営分析について
平成30年5月24日	平成30年度 第1回 運営検討委員会	平成29年度第4四半期(決算)監査報告・平成29年度決算報告書について・平成29年度釧路のぞみ協会経営分析表について・

平成30年7月17日	平成30年度 第2回 施設長会議	さわらび学園園舎新築移転について・定年延長について
平成30年9月13日	平成30年度 第3回 施設長会議	平成30年度第1四半期監査報告・就業規則の一部改正について・給与規程の一部改正について・理事会議案等について
平成30年9月13日	平成30年度 第2回 運営検討委員会	平成30年度第1四半期監査報告・就業規則の一部改正について・給与規程の一部改正について・理事会議案等について
平成30年12月6日	平成30年度 第4回 施設長会議	平成30年度第2四半期監査報告・諸規定の見直しについて・理事会議案等について・さわらび学園報告
平成30年12月10日	平成30年度 第3回 運営検討委員会	平成30年度第2四半期監査報告・給与規程の一部改正について・さわらび学園地域生活拠点事業等について・理事会議案等について
平成31年1月23日	平成30年度 第5回 施設長会議	自立センター事業所新築工事に係る指名競争入札の業者選定について
平成31年3月6日	平成30年度 第6回 施設長会議	平成30年度第3四半期監査報告・諸規定の見直しについて・理事会議案等について・平成31年度本部繰入金について
平成31年3月19日	平成30年度 第4回 運営検討委員会	平成30年度第3四半期監査報告・諸規程の一部改正について・理事会議案等について

【研修等】

開催日・開催地	主催	内容等
平成30年4月19日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座 (社会福祉法人・社会福祉施設経理取扱実務研修会) 講師：小田伸一税理士事務所 所長 小田伸一 氏
平成30年7月1日・2日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●将来を見据えて、いま取り組むべきこと 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員会 委員長 浦野正男 氏 ●見落とし注意！指導監査ガイドライン改正のポイント 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 岡崎貴志 氏 ●北海道内の複数法人間連携の取組 講師：(社福)刀圭会 地域密着型介護老人保健施設 ななかまど 施設長 山田 寿 氏
平成30年8月22日 帯広市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●北海道における公益的な取組について 講師：社会福祉法人北海道社会福祉協議会 事務局 ●計算書類から経営分析へ 講師：小田伸一税理士事務所 所長 小田伸一 氏 ●非正規職員の無期雇用のあり方 講師：北島社会保険労務士事務所 代表 北島春雄 氏

平成31年1月21日・22日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●会計監査人の設置に対する社会福祉法人としての準備 ●会計監査人から見る注意点 講師：あすの監査法人 代表社員 勝美憲一郎 氏 ●決算処理に向けての準備とポイント ●計算書類の作成から現況報告書作成まで ●社会福祉充実残額算定の注意点 講師：小田伸一税理士事務所 所長 小田伸一 氏
平成31年2月13日・14日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●将来を見据えて、いま取り組むべきこと 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員 千葉正展 氏 ●災害に備えて、いま、取り組むべきこと 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 総務委員会災害支援特命チーム 委員 廣江 晃 氏 ●実演 経営強化のための全国経営協WEB経営診断の活用 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 佐藤潤一 氏

平成30年度 社会福祉法人 はしどい学園事業報告

1. 事業の目的

指定就労継続支援B型事業所のそれぞれの目的に沿った円滑な運営を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切なサービスの提供を確保することを目的とする。

2. 運営の方針

指定就労継続支援B型事業の実施に当たって事業所は、別途利用者との契約に基づき、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成して、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通して、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

3. 事業の概要（生産活動の提供）

（1）指定就労継続支援B型（はしどい学園本体）

- ① 珍味販売
各種珍味の袋詰め、昆布の袋詰め等の請負作業
- ② 手芸品の作成
歳時等に則した作品作り
- ③ 包製作業
割り箸の袋詰め、シール貼り等の請負作業
- ④ 昼食作り
施設利用者の昼食作り、提供
- ⑤ 施設外就労
業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

（2）指定就労継続支援B型（はしどいワークラボ りれいと）

- ① オフセット印刷の受注・販売
名刺、封筒、帳票、年賀状、パンフレット等の各種オフセット印刷
- ② プレート彫刻
ネームプレートの彫刻・ピン付け、タオル・カレンダー等の受注販売
- ③ 廃油石けんの製造・販売
食用の廃油を利用して石けんの製造・販売
- ④ 請負作業
各種製函作業、段ボールの中仕切り加工等
- ⑤ 施設外就労
業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

4. 利用定員と職員配置

（1）利用定員 はしどい学園本体～就労継続支援B型 30名（現員43名）

はしどいワークラボ りれいと～就労継続支援B型 20名（現員25名）

（2）職員配置 はしどい学園本体～○管理者1名 ○サービス管理責任者1名（管理者兼務）

○生活支援員2名 ○職業指導員7名 ○栄養士1名

○目標工賃達成指導員1名 ○事務員1名（合計13名）

はしどいワークラボ りれいと～○管理者1名（本体と兼務）○サービス管理責任者1名○生活支援員1名 ○職業指導員3名○目標工賃達成指導員1名（合計6名）

5. 年度の重点

- （1）障害者虐待防止法を遵守するとともに、障害者差別解消法に基づき合理的な配慮を実施する。
- （2）個別支援計画に基づく支援とケース会議によるサービス内容の検証を行う。
- （3）外部研修等に参加し、職員の支援スキル、支援意識の向上を図る。
- （4）指定就労継続支援B型はしどいワークラボ りれいとの新築及び移転に向けて、スムーズな移行ができるように研究・計画を実施する。

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどい学園

平成31年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員	調理員
常 勤 専 従	1	1	1	1	2	0
常 勤 兼 務	0	0	0	0	1	1
非 常 勤 専 従	0	0	0	1	9	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	2	12	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
30名	43名	37.2	44.8	40.4	80歳	19歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	2	5	5	12	1	0	0	0	25
女	0	3	3	5	6	0	0	1	18

(2)上記利用者在籍期間

期 間 性 別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	2	3	2	2	4	4	2	2	4	25
女	0	1	1	3	1	3	2	2	5	18

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	5	23	0	0	2	0
女	16	0	16	0	0	2	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	2	2	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	1	23	1	25
女	1	18	0	19
計	2	41	0	44

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	4	0	0	11	9	1	0	25
女	3	0	0	5	7	3	0	18
計	7	0	0	16	16	4	0	43

(6)健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診	平成30年5月8日・22日	40
肺ガン健診(X-P検査)	平成30年11月9日	15
内科検診2回目	平成30年10月24日・31日	39
インフルエンザ予防接種	平成30年11月21日	30
歯牙検診	平成31年1月12日	14

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
はしどい学園	30名	43名	7	0	0	16	16	4	0	43

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	42	42	42	42	42	41	41	41	41	41	41	43	499
利用者延人数	861	890	877	891	885	822	901	860	881	870	777	927	10,442
はしどい本体 利用者延人数	640	629	639	639	645	598	635	623	655	635	560	703	7,601
施設外就労 利用者延人数	221	261	238	252	240	224	266	237	226	235	217	224	2,841
主な活動	・包製班(委託請負作業) ・加工班(珍味販売) ・施設外就労(野菜皮むき他) ・厨房班(昼食の配膳・下膳) ・社会参加活動(余暇支援)												

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	30年5月	火災	日中	○	○	○	・厨房から火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後に消火訓練を実施。
避難訓練	30年8月	地震津波	日中	—	—	○	・大地震により大津波警報が発令された想定で車両を使用し地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	30年11月	火災	日中	○	—	○	・厨房から火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成30年4月28日	ヒヤリハットについて	12名
平成30年5月26日	・各種マニュアルについて ・障がいについて	9名
平成30年8月25日	・障がいの理解 ・知的障がい、発達障がいについて	10名
平成30年9月15日	普通救命救急講習	10名
昭和59年9月29日	虐待防止研修	10名
平成30年10月26日	虐待防止研修	13名
平成30年11月17日	虐待防止研修	12名
平成31年3月16日	サービス等評価基準 自己評価について	11名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年4月19日	社会福祉法人実務者決算・財務分析講座 札幌市 北海道第二水産ビル	小田伸一郎税理士事務所 所長 小田 伸一郎氏	1名
平成30年6月10日	夢や希望を叶えるサポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏	3名
平成30年6月22日	職員品質管理研修会 ポリテクセンター釧路	OMリサーチ&コンサルティング株式会社 鈴木 輝俊氏	6名
平成30年7月4日5日	北海道知的障がい関係支援員研修 札幌市 北海道立道民活動センター	障がい者相談支援センター夢民 地域づくりコーディネーター 戸田 健一氏	1名

平成30年7月19日20日	北海道サービス管理責任者研修 札幌市 教育文化会館	就労移行支援事業所 あるば札幌 吉田 志信氏 就労移行支援A型事業所 ジョブロ ジック 原田 徳氏	1名
平成30年7月22日	発達障がいのある人へのサポート研修会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教授 梅永 雄二氏 京都女子大学教授 倉本 義則氏	1名
平成30年10月30日31日	北海道サービス管理責任者研修 札幌 コミュニティプラザ	特定非営利活動法人 じりつ 代表理事 岩上 洋一氏	1名
平成31年1月21日22日	社会福祉法人実務者決算・財産分析講座	小田伸一郎税理士事務所 所長 小田 伸一郎氏	1名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回家族懇談会	10月	・利用者旅行(小樽1泊) ・利用者旅行(登別1泊) ・利用者旅行(札幌1泊) ・利用者旅行(十勝川日帰り) ・道東ミニバレーボール大会
5月	・セレクト活動 ・避難訓練	11月	・セレクト活動 ・避難訓練
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会 ・道東みどり会	12月	・第3回父母懇談会 ・セレクト活動 ・忘年会
7月	・セレクト活動 ・第2回家族懇談会 ・りれいと新築工事着工	1月	・セレクト活動
8月	・釧路・根室地区ボウリング大会 ・セレクト活動 ・合同避難訓練	2月	・セレクト活動 ・りれいと引越し準備
9月	・理髪奉仕	3月	・事務室移転 ・りれいと引越し

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどいワークホリれいと

平成31年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	1	0	0	1
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	0	1	5
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
合 計	1	1	0	1	6

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
20名	25名	34.2	40.9	36.9	57歳	19歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	1	4	6	4	0	0	0	0	15
女	1	0	4	4	1	0	0	0	10

(2)上記利用者在籍期間

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	3	1	2	4	4	0	1	0	15
女	1	1	0	0	1	4	2	1	0	10

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	13	2	13	0	0	2	0
女	9	1	9	0	0	1	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	2	2	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	1	15	0	16
女	0	10	0	10
計	1	25	0	26

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	1	1	5	8	0	0	0	0
女	1	0	6	3	0	0	0	0
計	2	1	11	11	0	0	0	0

(6)健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診	平成30年5月18日	19
肺ガン健診(X-P検査)	平成30年11月9日	8
内科検診2回目	平成30年10月17日	19
インフルエンザ予防接種	平成30年11月28日	15
歯牙検診	平成31年1月12日	8

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
ワークホーりれいと	20名	25名	2	1	11	11	1	0	0	26

(8)事業実施状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	25	312
利用者延人数	570	578	553	577	586	544	581	560	575	573	523	564	6,784
はしどい分場 利用者延人数	416	430	407	424	371	295	297	412	456	451	390	437	4,786
施設外就労 利用者延人数	154	148	146	153	215	249	284	148	119	122	133	127	1,998
主な活動	・オフセット印刷 ・委託請負事業 ・施設外就労(水産・箱折り)												

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	30年6月	火災	日中	○	○	○	・1階事務所のストーブから火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。
避難訓練	30年8月	地震津波	日中	—	—	○	・大地震により大津波警報が発令された想定で車両を使用し地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	30年11月	地震火災	日中	○	—	○	・地震が発生したことでストーブから火災が発生した想定で通報訓練を行い、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後にライフジャケットの着用練習を実施。

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成30年4月28日	ヒヤリハットについて	4名
平成30年5月26日	・各種マニュアルについて ・障がいについて	5名
平成30年8月25日	・障がいの理解 ・知的障がい、発達障がいについて	7名
平成30年9月15日	普通救命救急講習	7名
平成30年10月26日	虐待防止研修	6名
平成30年11月17日	虐待防止研修	7名
平成31年3月16日	サービス等評価基準 自己評価について	11名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年6月10日	夢や希望を叶えるサポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏	2名
平成30年7月15日	全道相談支援・地域支援等研修会 釧路プリンスホテル	地域生活支援推進室 相談支援専門官 大平 真太郎氏	1名
平成30年7月22日	発達障がいのある人へのサポート研修会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教授 梅永 雄二氏 京都女子大学教授 倉本 義則氏	4名

平成30年8月22日	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会 帯広市 とかち館	小田伸一税理士事務所 所長 小田 伸一氏 特定社会保険労務士 代表 北島 春雄氏	1名
平成30年10月17日18日	全道知的障がい関係職員研究大会 定山溪 ホテルミリオオーネ	社会福祉法人岩崎学園 理事長 松下 直弘氏	1名
平成30年10月18日19日	相談支援従事者研修 札幌コンベンションセンター	北星学園大学 教授 田中耕一郎氏 社会福祉法人札幌緑花会 総合施設長 光増 昌久氏	1名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回家族懇談会	10月	・利用者旅行(小樽1泊) ・利用者旅行(登別1泊) ・利用者旅行(札幌1泊) ・利用者旅行(十勝川日帰り) ・道東ミニバレーボール大会
5月	・理髪奉仕	11月	・避難訓練 ・肺がん検診 ・インフルエンザ予防接種
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会 ・道東みどり会	12月	・第3回父母懇談会 ・忘年会
7月	・第2回家族懇談会 ・りれいと新築工事着工	1月	・父母会臨時総会
8月	・釧路・根室地区ボウリング大会 ・合同避難訓練	2月	・りれいと引越し準備
9月	・理髪奉仕 ・焼肉レクリエーション	3月	・事務室移転 ・りれいと引越し ・レクリエーション

**平成30年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会
さわらび学園 事業報告書**

1. 事業運営の目的

利用者が、安心かつ安全に生活し諸活動が営めるように、個人の意思や人格・権利を尊重し、自立した社会生活を保障するとともに充実した社会参加活動を促進し、利用者の幸せを追求することを目的とする。（安全・安心な事業利用の保障、人権の尊重、幸せの追求）

2. 事業運営の方針

①（共に生きる意識）

常に利用者と時や空間を共有する姿勢を絶やさず、共に支え合い、共に生きるという意識を持って支援に当たる。

②（支援の個別化）

利用者個々が持てる能力を充分に発揮し、自主的かつ主体的に生活し諸活動が行えるよう、個別支援計画の充実と支援技術・体制の向上を図る。

③（家族の安心と希望）

利用者の家族との連携を重視し、家族が安心し希望が持てるように、十分な協議や説明を行い、理解と同意に基づいた支援を行う。

④（関係諸機関との連携）

法人、各市町村や地域、他の福祉・医療サービス提供事業者、関係諸団体等と綿密な連携を図りながら業務を行う。

⑤（自己評価）

常に支援内容の評価に努め、リスク検証や苦情解決システムを用い、利用者の立場に立った支援内容・体制等の確立に努めると共に、利用者の権利擁護をしていく。

3. 事業の内容

①障がい者支援施設 さわらび学園

- （１）指定施設入所支援施設
- （２）指定生活介護事業（日中活動事業）
- （３）指定短期入所事業

②社会就労センターらびい

- ・指定就労継続支援事業B型

③プロムナード釧路

- ・指定共同生活援助（介護サービス包括型）

4. 年度の重点

- ①ケース会議、個別支援計画会議の充実、個別支援マニュアルの充実。各種研修の実施。
(自閉症スペクトラム・強度行動障害・高齢者について等)
- ②各事業所(課・係)において、円滑な運営を維持できるよう精査すると共に、改善に努める。
(連携の強化、業務の簡略化・簡素化、省力化・節約、利用収入の研究等)
- ③施設・共同生活の生活支援内容・体制の充実。
- ④作業工賃について、設定額の向上に努める。
(社会就労センターらびい就労継続支援事業B型)
- ⑤活動系・訓練系の事業の支援メニュー内容の充実と定着を図る。
- ⑥利用者の権利擁護に努め、継続した研修等を実施する。
他施設・事業所の視察研修、各事例研究、各種研修参加。
(企業のマナー、福祉、権利擁護について、虐待防止の研修等)

5. 総括業務の内容

- ①苦情解決の受付・対応
「釧路のぞみ協会福祉サービスに関する苦情解決事業要綱」に従って、利用者やその家族からの苦情があった場合、あるいは苦情と判断される場合は、苦情解決システムに従い、解決に向けて丁寧に迅速に対応する。(苦情解決責任者：施設長 川口 靖)
- ②家庭との連絡・調整
家庭訪問・家庭との連携(連絡)
 - (1) 日常的に家庭との連携を行ない、その内容を記録する。
 - (2) 契約や個別支援計画変更のために必要に応じて家庭訪問を実施する。
 - (3) 家庭との連携は個人担当とサビ管予定者で話し合い、実施する。
- ③利用者・家族への聴き取り
個人担当者が中心となり、今年度の評価や次年度の希望等を聞き、個別支援計策定に係る資料とする。
- ④リスクマネジメントの実施
リスクマネジメントの実施マニュアルに従って、施設内の機械・設備や利用者支援等についての事故や、事故に繋がりそうな事項について報告書(ヒヤリ・ハット、事故報告)の提出を指示し、それを検証し対策を講ずることで同様の事故や事故につながる恐れを回避する。
- ⑤個人記録簿の検閲・整備・保管・利用
 - (1) 全職員が全利用者について日常行動を記録する。
 - (2) 遅滞なく記録・検閲を受け、速やかに活用ができるようにする。

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 障がい者支援施設 さわらび学園

平成31年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長	嘱託医	管理者	サービス管理 責任者	生活支援員	看護師	栄養士	事務員
常 勤 専 従	1	0	0	0	10	4	1	0
常 勤 兼 務	0	0	1	1	1	0	0	1
非 常 勤 専 従	0	1	0	0	14	0	0	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	2	0	0	2
合 計	1	1	1	1	27	4	1	3

2.利用者の状況

【施設入所支援事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定 員	現 員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	40名	51.0歳	51.1歳	51.0歳	77歳	29歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	1	4	3	7	4	1	0	20
女	0	1	4	2	8	4	1	0	20

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期 間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	2	2	16	0	0	0	0	0	20
女	0	1	3	16	0	0	0	0	0	20

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	1	0	0	0	0	1
女	20	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳(矯正施設→長期短期入所)

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	0	0	0	0	1	19
女	0	0	0	0	0	0	20

※その他の内訳(死亡)

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援医療	合 計
男	3	20	0	4	27
女	2	20	1	3	26
計	5	40	1	7	53

②障害支援区分

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男	0	0	0	0	3	9	8	20
女	0	0	0	0	1	15	4	20
計	0	0	0	0	4	24	12	40

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	10 人	17 人	15 人	11 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	糖尿病	喘息
	2 人	0 人	1 人	0 人
	高血圧	泌尿器疾患	内科・消化器科	耳鼻・皮膚科
	4 人	5 人	7 人	18 人

②受診科目の内容

		実 人 数	延 人 数
通 院 治 療	精神科	24	240
	脳神経外科	4	13
	内科・小児科	21	123
	外科・整形外科	6	10
	耳鼻咽喉科	5	35
	歯科	2	2
	皮膚科	3	3
	眼科	5	14
	泌尿器科	4	37
	婦人科	1	1
	その他	1	2
往 診	皮膚科	26	233
	歯科	37	567
	精神科	13	48
計			1,328

③健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診(聴打診他)	平成30年4月25日	41
歯科検診	毎週木曜日(15:00~16:00)	37
肺がん検診	平成30年7月4日	29
大腸菌・赤痢菌検査	平成30年8月1日~8月31日	40
B型・C型肝炎検査	平成30年9月14日	40
内科健診(採尿・採血・心電図等)	平成30年9月14日	38
胃がん健診	平成30年11月7日	22
インフルエンザ予防接種	平成30年11月9日	40
子宮がん・乳がん検診	平成30年12月5日	7
エキノкокクス検査	今年度なし。(次回令和3年予定)	-

(7)利用者状況

	定員	現員	性別	障害支援区分							
				非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
さわらび学園	40名	40名	男	0	0	0	0	3	9	8	20
			女	0	0	0	0	1	15	4	20

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	40	40	39	39	40	40	40	40	40	40	40	40	478
利用者延人数	1,156	1,144	1,168	1,171	1,134	1,124	1,192	1,163	1,123	1,108	1,062	1,174	13,719

【生活介護事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	40名	51.0歳	51.1歳	51.0歳	77歳	29歳

	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	計(人)
男	0	1	4	3	7	4	1	0	20
女	0	1	4	2	8	4	1	0	20

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1~3年 未満	3~5年 未満	5~10年 未満	10~15年 未満	15~20年 未満	20~25年 未満	25~30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	2	2	16	0	0	0	0	0	20
女	0	1	3	16	0	0	0	0	0	20

(3)利用状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	21	0	0	0	0	0	0
女	20	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	0	0	0	0	1	20
女	0	0	0	0	0	0	20

※その他の内訳(死亡)

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援医療	合 計
男	3	20	0	4	27
女	2	20	1	3	26
計	5	40	1	7	53

②障害支援区分

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男	0	0	0	0	3	9	8	20
女	0	0	0	0	1	15	4	20
計	0	0	0	0	4	24	12	40

(6)利用者状況

	定 員	現 員	性 別	障害支援区分							
				非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
さわらび学園	40名	40名	男	0	0	0	0	3	9	8	20
			女	0	0	0	0	1	15	4	20

(7)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	483
利用者延人数	881	915	891	899	897	832	898	866	889	862	768	879	10,477
主な活動	・スポーツ活動 ・芸術活動 ・創作活動 ・自立課題活動 ・余暇外出 ・買い物外出 ・旅行 ・その他施設内外活動												

【短期入所】レスポワールさわらび学園

(1)利用者状況

	定 員		利用状況											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期入所	男	2名	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1

(2)区分別利用状況

	利用状況(男)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
区分4	30	31	30	31	0	0	0	0	0	0	0	0	122
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	利用状況(女)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	19	40
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)事業実施状況

男 性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業延日数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
利用者延人数	30	31	32	33	0	0	0	0	0	0	0	0	126

女 性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業延日数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
利用者延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	19	40

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	参加人数	訓練内容			
					通報	消火	避難	詳細
避難訓練	H30.7.17	大地震 大津波	13:00～	38名	—	—	○	地震発生による大津波警報が発令されたため避難車で避難場所(釧路たんちよう空港まで避難した。 (所要時間:15分05秒)
避難訓練	H30.8.29	地震 火災	13:00～	40名	—	—	○	地震発生により厨房から火災が発生したため各寮玄関からグラウンドに避難した。 (所要時間:7分35秒)
避難訓練	H30.9.18	地震 火災	13:00～	36名	—	—	○	地震発生によりボイラー室から火災が発生したため各寮玄関からグラウンドに避難した。 (所要時間:6分30秒)
避難訓練	H30.10.17	夜間 火災	10:00～	38名	○	○	○	消防署員立ち合いのもと、夜間を想定した訓練で、ボイラー室から出火を想定し夜勤職員の対応でグラウンドに避難した。その後、消火訓練実施。 (所要時間:9分43秒)

4.人権擁護の取組み

(1)虐待防止委員会の開催

開催日	主な協議事項
平成30年4月6日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認
平成30年5月8日	釧路市障がい者虐待防止研修会の研修報告 ・すべての職員の使える才能を集め、工夫や協力して対応すること ・利用者からの「SOS」を見逃さない。(利用者のことばや話などの中から) ・職員からの「SOS」を見逃さない。 ・職員同士、お互いに言い合える関係づくり。
平成30年6月8日	姫路市の事業所の「私はうそつき」カード首提げと福岡県久留米市の施設長の通所女性に性的虐待の2つの事案について検証
平成30年7月5日	大阪府「隆光学園」で起きた職員による男性利用者への暴行するといった事件があり、その結果利用者を死亡させた事件の検証
平成30年8月3日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認
平成30年9月6日	北海道胆振東部地震で北海道全域の大停電があったため委員会の開催は中止
平成30年10月3日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認

平成30年11月8日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認
平成30年12月7日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認
平成31年2月5日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認 ④父親による女兒殺害事件について(報道)
平成31年2月13日	①利用者への不適切な対応の検証とその結果、暴力や他害を受けている利用者を守る。(加害利用者と被害利用者を引き離す) ②トラブルが発生した時点で双方別々に聴き取りをする。 ③利用者のこだわりなどの特性をしっかりと理解する。
平成31年3月8日	①利用者から職員へ暴力等があった時、又は暴力行為に及ぶことが予測される時の職員の対応について ②利用者の服装や靴などの履物・転倒防止について ③利用者間のトラブルについて ～原因の究明と暴力行為の回避のため、その他の職員の応援と連携等の再確認

5.人材の育成

(1)施設内研修実施状況

実施日	研 修 テ ー マ	参加人数
平成30年4月17日	①緊急時対応マニュアル確認 ②「基礎的支援」 ③服薬マニュアル・服薬者一覧、アレルギー・既往歴の確認他	19名
平成30年5月11日	①権利擁護について ②虐待事件事例について ③預かり金処理マニュアル他 ④各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	19名
平成30年6月26日	①認知症について ②利用者支援で大事な視点⇒「気づき」の視点から事故を考える。 ③各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	15名
平成30年7月19日	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②利用者の緊急時対応について ③各委員会(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	13名
平成30年8月23日	①強度行動障害支援者養成研修(基礎編)から ②障害福祉サービス共通評価基準 ③職員業務振り返りシート・虐待防止チェックの検証 ④各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	20名
平成30年9月19日	①災害時の対応について他 ②各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	20名
平成30年10月20日	①虐待防止研修テーマ「虐待防止法と虐待を起こさない為には」 ②各委員会(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策)	16名
平成30年11月27日	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②看護師による嘔吐物処理における実践研修	18名

平成30年11月27日	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②看護師による嘔吐物処理における実践研修	18名
平成30年12月27日	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②インシデント「事故報告事案」から	19名
平成31年1月16日	①各委員会報告(事故防止・虐待防止・身体拘束廃止・感染予防対策) ②障害福祉サービス共通評価基準に基づいた検証について	20名
平成31年2月13日	①利用者への不適切な対応の検証	21名

(2)施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年4月29日	講演会 「発達に気になる子の『ステキ』を伸ばすために」/釧路市	発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 加藤 潔氏	1名
平成30年6月10日	講演・講習 「夢や希望を叶えるサポートプラン研修会」 /釧路市	Office夢風舎 土屋 徹氏	1名
平成30年6月27日 ～ 平成30年6月28日	北海道強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)/札幌市	社会福祉法人 はるにれの里	1名
平成30年7月21日 ～ 平成30年7月22日	北海道強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)/芽室町	社会福祉法人 帯広福祉会	4名
平成30年7月22日	発達障がいのある人へのサポート研修会 /釧路市	自立屋本舗 親分 大澤 隆則氏 早稲田大学 教育・総合学科学術院 教授 梅永 雄二氏	1名
平成30年9月2日	講演会 「発達障害の理解と支援」 ～自閉症スペクトラムを中心に～/釧路市	よこはま発達クリニック院長 大正大学臨床心理学科教授 内山 登紀夫氏	1名
平成30年9月3日	平成30年度相談支援従事者研修及び サービス管理責任者等養成研修 (ファシリテーター養成研修)/札幌市	北海道保健福祉部障がい福祉課 主管 岩佐 元明氏 北星学園大学 教授 田中 耕一氏 他	1名
平成30年10月13日	釧路市『地域で障がい者を支えるための 理解を深める会』安心してその人らしく暮 らすための支援を見つめ直す～寄り添うこ と・繋がること・地域を耕すこと/釧路市	福岡 寿氏	1名
平成30年11月18日	精神・発達障がいのある方への相談支援 ワークショップ 自己選択・自己決定を支えるステップを習 得しよう！/釧路市	Office夢風舎 土屋 徹氏	1名
平成30年11月23日	子どもの発達支援協議会・研修会 「活かそう！発達障害～いいところを伸ば すために～」	十勝むつみのクリニック 長沼 睦雄氏	1名
平成30年11月28日 ～ 平成30年11月30日	平成30年度日中活動支援部会全国大会 /横浜市	厚生労働省 障害福祉専門官 片桐 公彦氏 愛知県立大学 教育福祉部 教授 吉川 雅博氏 他	1名

平成30年12月6日 ～ 平成30年12月8日	北海道強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)/札幌市	社会福祉法人 はるにれの里	2名
平成31年2月20日 ～ 平成31年2月21日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 「施設従事者等研修」/札幌市	十勝圏域地域づくりコーディネーター 丸瀬 恵氏 こころのリハビリ総合支援センター 所長 阿部 幸弘氏 北海道障がい福祉課(権利擁護) 主査 中瀬 久美子氏	1名

6.組織づくり

(1)職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
主任・管理職会議	11回	さわらび学園・社会就労センターらびい・プロムナード釧路の全事業所を含めた利用者及び職員動向、身体拘束委員会・事故対策防止委員会・虐待防止委員会・感染予防対策委員会の開催、職員周知事項及び確認事項、事業所間の調整、次月の行事予定の確認等
職員会議	12回	利用者健康会議、給食会議、次月行事予定表(案)確認、職員周知事項(職員動向・関連事業所状況報告・法人の状況報告他)、施設長説明他
年度末反省会議	1回	平成30年度 年度末反省会議
新年度経営案会議	1回	平成31年度 新年度経営案会議
ケース会議	毎月1回 随 時	利用者モニタリング、個別支援計画に関するケース会議、個別支援計画検討 利用者個別対応について等
男子棟会議	随 時	利用者個別支援におけるその具体的な対応策及び支援方法について検討 個別ケース検討、職員周知事項他
女子棟会議	随 時	利用者個別支援におけるその具体的な対応策及び支援方法について検討 個別ケース検討、職員周知事項他

(2)各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
虐待防止委員会	11回	利用者の興奮やパニック時の職員の対応について検証と確認、利用者間における他害行為及び職員に対する他害行為の予測についてと利用者間トラブルの対応について等
身体拘束廃止委員会	11回	利用者の興奮やパニック時の職員の対応について検証と確認について
事故防止対策委員会	11回	インシデント(事故・ヒヤリハット)報告の検証と今後の対応について～車輛・交通事故や利用者の食事上の喉つまり事故など。その他、利用者からの暴力行為等の検証と今後の職員の対応について、防犯対策・防災対策・交通安全等
感染予防対策委員会	11回	感染予防についての対策の周知と実際の対応について(特に、インフルエンザとノロウイルスに感染予防について)、熱中症等の予防対策等

7.主要行事

4月	・誕生会 ・利用者健康診断(聴打診ほか) ・利用者日帰り旅行 ・レクレーション外出	10月	・誕生会 ・利用者一泊旅行(阿寒湖温泉) ・平成30年度第1回家族懇談会 ・避難訓練(夜間想定・消防立会い)
5月	・誕生会 ・利用者日帰り旅行(十勝方面) ・春の昼食会 ・グラウンド開き(お祓い)	11月	・誕生会 ・胃がん健診(40歳以上) ・インフルエンザ予防接種 ・お楽しみ昼食会 ・喜寿祝い
6月	・誕生会 ・野外昼食会(焼肉) ・利用者一泊旅行(弟子屈・鶴居方面) ・利用者一泊旅行(北見方面)	12月	・誕生会 ・子宮がん検診 ・クリスマス昼食会 ・さわらび学園忘年会
7月	・誕生会 ・野外昼食会(焼肉) ・利用者一泊旅行(札幌方面) ・避難訓練(地震大津波)	1月	・誕生会 ・新年お楽しみ昼食会
8月	・誕生会 ・昼食会 ・利用者一泊旅行(十勝方面) ・利用者日帰り旅行(塘路・かや沼) ・レクレーション外出 ・避難訓練(地震・火災)	2月	・誕生会 ・節分昼食会 ・バレンタインデー
9月	・誕生会 ・野外昼食会(焼肉) ・利用者一泊旅行(十勝方面) ・利用者健康診断 (採尿・採血・心電図等) ・避難訓練(地震・火災)	3月	・誕生会 ・雛まつり昼食会 ・ホワイトデー ・平成30年度第2回家族懇談会

平成31年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長	管理者	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	0	0	1	0	1
常 勤 兼 務	0	1	1	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	0	0	5	8
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	1	5	9

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
20名	35名	45.6歳	40.2歳	43.7歳	65歳	24歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	4	5	4	7	3	0	0	23
女	0	1	7	1	1	2	0	0	12

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	1	8	3	10	0	0	0	0	23
女	0	0	3	4	5	0	0	0	0	12

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	22	1	1	0	0	0	0
女	12	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続利用
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	0	1	0	0	0	23
女	0	0	0	0	0	0	12

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	2	21	1	24
女	1	10	2	13
計	3	31	3	37

※自立支援医療受給者証保持者 6人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男	5	0	0	1	11	6	0	23
女	0	0	0	3	6	3	0	12
計	5	0	0	4	17	9	0	35

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診(聴診)	平成30年4月25日	34
肺ガン検診(X-P検査)	平成30年7月4日	17
血液検査・心電図検査	平成30年9月28日	34
胃がん検診	平成30年11月7日	14
インフルエンザ予防接種	平成30年11月16日	35
子宮がん・乳がん検診	平成30年12月5日	5

[利用者状況]

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
社会就労センター らびい	20名	35名	5	1	1	6	13	9	0	35

[事業実施状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	35	35	34	34	34	35	35	35	35	35	35	35	417
利用者延人数	743	767	713	745	737	683	771	736	771	743	658	756	8,823
施設外就労利用者延人数	456	465	435	433	430	364	421	427	439	416	368	423	5,077
らびい本体利用者延人数	287	302	278	312	307	319	350	309	332	327	290	333	3,746
主な活動	・清掃班(市内福祉施設事業所清掃など) ・ポスティング班(チラシ折り・投函) ・厨房班(昼食の配膳・下膳)												

【防災】

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	6月	地震	日中	想定	—	○	釧路沖地震～震度6を想定し、屋外への安全な場所まで避難する訓練
避難訓練	8月	地震 津波	日中	想定	—	○	地震発生に伴う津波の避難誘導警報が出された想定で地域の避難場所まで避難する訓練。
消火訓練	2月	火災	日中	想定	想定	○	釧路市防災センターにて総合訓練と体験。

②安全確保のための点検・会議

項 目	実施日	実施内容
電気設備点検	平成30年4月20日	配線等の漏電測定・屋外電気設備・分電盤等の屋内電気設備の点検
消防設備点検	平成30年6月7日	避難器具・誘導灯及び誘導標識・非常警報器具及び設備等の点検
業務用冷蔵庫点検	平成30年8月31日	冷蔵庫内設備、使用部品点検
エアコン室内機室外機点検	平成30年11月9日	薬品洗浄・動作確認の点検

【人権擁護の取組み】

<虐待防止委員会の開催>

開催日	主な協議事項
平成30年4月6日	・利用者の興奮時の対応について（実例の検証）
平成30年5月8日	・新聞記事より「私はうそつき」カード、「管理者によりわいせつ行為」
平成30年6月8日	・他施設での虐待事件について（実例の検証）
平成30年7月11日	・利用者の興奮時の対応について（実例の検証） ・事故発生時の対応について
平成30年8月3日	・災害時の対応について （新釧路川洪水ハザードマップ、釧路市内水ハザードマップ）
平成30年9月19日	・災害時の対応について・必要備品について
平成30年10月17日	・利用者のPTOに合わせた服装、靴の確認について
平成30年11月14日	・利用者の誤飲対応について
平成30年12月19日	・利用者から利用者への指示・命令について
平成31年1月7日	・利用者から職員への暴力行為があった時、予想されるときへの対応について
平成31年2月5日	・利用者から職員への暴力行為があった時の対応について （実例の検証）
平成31年3月8日	・利用者から職員への暴力行為があった時の対応について （実例の検証）

【人材の育成】

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成30年4月18日	「事業所における人材育成について」～研修報告 「交通安全について」	11名
平成30年5月16日 平成30年5月23日	「セクシャルハラスメントについて」 「アサーティブコミュニケーションについて」	10名
平成30年6月8日 平成30年6月20日	「報・連・相～主任以上での連絡・変化への対応」 「サービス共通評価基準の実施①」	11名
平成30年7月11日 平成30年7月18日	「熱中症予防のために」 「サービス共通評価基準の実施②」	10名
平成30年8月16日 平成30年8月22日	「福祉現場のやりがい～あなたに届けるメッセージ」 「障がい者虐待とは何か」	10名
平成30年9月19日 平成30年9月26日	震災時の対応・必要備品について 「なぜ、パワハラは生まれるのか」～脳のくせを知ればわかる～	11名
平成30年10月17日 平成30年10月24日	「障がい者のための合理的配慮について」 「介護労働者雇用管理者責任者講習」研修報告	10名
平成30年11月14日 平成30年11月21日	「汚物処理マニュアル・インフルエンザ予防」について 「障がいのある人とのコミュニケーション」とは研修報告	11名
平成30年12月12日 平成30年12月22日	「障害とは？」パートⅡ 「作業中事故の事故対応について」	9名
平成31年1月16日	「冬期間の交通安全について」	10名
平成31年3月27日	「身体拘束の三要件と対応について」	11名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年4月29日	発達が気になる子の「ステキ」を伸ばすために 釧路市生涯学習センター	発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 講師：加藤 潔氏	1名
平成30年6月10日	「夢や希望を叶えるサポートプラン研修会」 釧路プリンスホテル	Office夢風舎 舎長 講師：土屋 徹氏	2名
平成30年10月4日	「介護労働者 雇用管理責任者講習」 釧路国際交流センター	社会保険労務士事務所 テラス 講師：倉 正彦氏	1名
平成30年11月1日	「障がいのある人とのコミュニケーション」 ～わかるように伝えること、わかるように 伝えてもらうこと～ 幕別グランヴィリオホテル	香川大学教育学部 香川大学バリアフリー支援室 講師：坂井 聡氏	1名
平成30年11月23日	子ども虐待防止・講演会 「活かそう！発達脳障害」 ～いいところを伸ばすために～	十勝むつみのクリニック 院長 講師：長沼・睦雄	2名

【組織づくり】

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	毎月1回	個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	次月行事予定、作業評定会議、各作業班からの状況報告 給食会議、作業班収支状況確認、施設長説明、その他
主任・管理職会議	毎月1回	職員動向、利用者動向、日程、今後の行事について、その他
管理職会議	随時	各事業所の運営について、事業所間の調整

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	防犯対策、防災対策、交通安全、その他

【主要行事】

4月		10月	利用者旅行(川湯・弟子屈方面)
5月		11月	
6月	釧路専門学校合同 スポーツレクリエーション	12月	らびい・グループホーム合同クリスマス会
7月	焼肉レクリエーション	1月	らびい・グループホーム合同新年会
8月		2月	
9月	焼肉レクリエーション	3月	らびい利用者ご苦労さん会

平成31年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長	管理者	サービス管理 責任者	世話人	生活支援員
常 勤 専 従	0	0	0	0	1
常 勤 兼 務	1	1	1	12	12
非 常 勤 専 従	0	0	1	0	1
非 常 勤 兼 務	0	0	0	3	0
合 計	1	1	2	15	14

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
38名	37名	43.1歳	41.8歳	42.4歳	65歳	19歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	1	3	6	3	8	1	0	0	22
女	0	0	9	2	2	2	0	0	15

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	2	0	4	1	15	0	0	0	0	22
女	0	1	4	3	7	0	0	0	0	15

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	2	2	0	0	0	0
女	15	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	2	0	0	0	0	22
女	0	0	0	0	0	0	15

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	3	20	2	25
女	3	14	1	18
計	6	34	3	43

※自立支援医療受給者証保持者 8人

②障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	1	2	1	11	7	0	22
女	0	1	4	6	4	0	15
計	1	3	5	17	11	0	37

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	3 人	8 人	6 人	4 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	B型肝炎	糖尿病
	1 人	1 人	2 人	0 人
	高血圧	高脂血症	鉄欠乏性貧血	子宮内膜症
	5 人	3 人	6 人	1 人
	皮膚炎	アレルギー性鼻炎	椎間板ヘルニア	頻尿
	6 人	3 人	1 人	5 人
	胃潰瘍	腰痛症等	緑内障	白内障
	3 人	6 人	1 人	1 人
	脂漏性湿疹	円錐角膜症	内痔核等	水虫
	4 人	1 人	3 人	11 人
	乾燥肌	セルフカテーテル	認知機能	本態性振戦
	1 人	1 人	1 人	1 人
	褥瘡	変形性膝関節症	変形性椎間板	結膜炎
	1 人	1 人	1 人	1 人
	窃視症	その他		
	1 人	10 人	人	人

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成30年4月25日・4月26日	29人
肺ガン健診(X-P検査)	平成30年7月4日	14人
血液・尿検査	平成30年9月14日・9月28日	30人
心電図検査	平成30年9月14日・9月28日	10人
胃がん検査	平成30年11月7日	12人
インフルエンザ予防接種	平成30年11月9日	29人
子宮がん・乳がん検診	平成30年12月5日	7人

③受診科目の内容

		実人数	延人数
通 院 治 療	精神科	13	85
	脳神経外科	4	22
	内科・小児科	18	90
	外科・整形外科	5	44
	耳鼻咽喉科	7	50
	歯科	22	331
	皮膚科	17	129
	眼科	4	16
	婦人課	1	4
	肛門科	3	13
	心臓血管内科	1	7
	泌尿器科	6	26
	その他	3	14
往 診	皮膚科	0	0
	歯科	0	0
	その他	0	0
計			831

[利用者状況]

ホーム名	定員	現員	区分							
			非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
プロムナード昭和北	5名	5名	0	0	0	0	2	3	0	5
プロムナードセレストⅠ	4名	4名	0	0	2	0	2	0	0	4
プロムナードセレストⅡ	3名	3名	0	1	0	1	1	0	0	3
プロムナードルアナ	5名	5名	0	0	0	0	4	1	0	5
プロムナードリノ	5名	5名	0	0	0	0	2	3	0	5
プロムナードれおんⅠ	3名	3名	0	0	1	0	1	1	0	3
プロムナードれおんⅡ	3名	3名	0	0	0	1	2	0	0	3
プロムナード鳥取北	5名	5名	0	0	0	1	2	2	0	5
プロムナード昭和中央	5名	4名	0	0	0	2	1	1	0	4
合 計	38名	37名	0	1	3	5	17	11	0	37

[事業実施状況]

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用延人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	1,071	1,044	1,013	1,064	1,016	1,021	1,074	1,037	1,032	1,021	962	1,111	12,466
主な活動	・通院支援 ・入浴支援 ・金銭管理 ・個別買い物支援 ・余暇支援 ・クラブ活動(フットサル、ミニバレーボール、水泳、お花サークル、絵画サークル)												

【防災】

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	30年6月	地震津波	夜間	想定	—	○	地震発生に伴い、津波勧告が発令されたことを想定し、地域の避難場所まで避難する訓練を実施。
避難訓練 通報訓練	31年2月	火災	夜間	○	想定	○	調理中に火災が発生したことを想定し、屋外の安全な場所まで避難し、消防へ通報する訓練を実施。
避難訓練	31年3月	地震津波 風水害	夜間	想定	—	○	地震発生に伴い、津波勧告が発令されたことを想定し、地域の避難場所まで避難する訓練を実施。また風水害の際の注意事項を確認。

②安全確保のための点検・会議

項 目	実施日	実施内容
消防用設備等検査	2018年8月21日	プロムナードリノ、ルアナの消防用設備点検

【人権擁護の取組み】

<虐待防止委員会の開催>

開催日	主な協議事項
平成30年4月17日	①利用者の言っている意味を考える。 ②利用者の行動を検証する。原因と対応 ③利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年5月16日	①利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるときへの対応について ②兵庫県グループホームの虐待行為、福岡県就労移行支援施設の性的虐待の検証
平成30年6月8日	①利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ②太陽の園の虐待事件について検証
平成30年7月11日	①利用者が利用者への指示によるトラブル。 ②大阪府障害者支援施設 隆光学園での虐待事例の検証
平成30年8月3日	①利用者が利用者への指示によるトラブル。職員が行う事を利用者が行う事でのトラブル ②職員の利用者に対する言動について
平成30年9月19日	①利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ②利用者の言っている意味を考える。 ③利用者の行動を検証する。原因と対応
平成30年10月17日	①利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ②利用者の言っている意味を考える。 ③利用者の行動を検証する。原因と対応
平成30年11月14日	・一般就労している利用者の職場における暴力行為を受けた件について
平成30年12月19日	①利用者が利用者への指示によるトラブル。 ②利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成31年1月7日	①利用者から職員への暴力行為があった時、予想されるときへの対応について ②利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成31年2月5日	・利用者から職員への暴力行為があった時の対応について実例の検証
平成31年3月8日	①介護施設での暴力行為や財産を盗む行為について検証 ②利用者から職員への暴力行為があった時、予想されるときへの対応について

【人材の育成】

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成30年4月24日	権利擁護について(倫理綱領・行動規範)	12人
平成30年5月29日	メンタルヘルスについて	9人
平成30年6月27日	自閉症スペクトラム障害について	8人
平成30年7月30日	エンパワメント・ストレングス視点について	8人
平成30年8月27日	ケースカンファレンス	11人
平成30年9月24日	知的障害者の加齢変化の特徴と支援課題	10人
平成30年10月29日	アンガーマネジメントについて	12人
平成30年11月26日	精神障害について	11人
平成30年12月24日	高次脳機能障害について	11人
平成31年1月28日	生活習慣病について	11人
平成31年3月25日	救命救急・心肺蘇生法について	8人

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年4月29日	発達が気になる子の「ステキ」を伸ばすために 釧路市生涯学習センター	発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 講師：加藤 潔氏	1名
平成30年6月10日	「夢や希望を叶えるサポートプラン研修会」 釧路プリンスホテル	Office夢風舎 舎長 講師：土屋 徹氏	2名
平成30年7月22日	発達障害のある人へのサポート研修会 ～TTAP&心理検査から理解を深めよう～ 釧路プリンスホテル	自立屋本舗 大澤 隆則氏 早稲田大学教育・総合科学学術院 梅永 雄二氏	1名
平成30年10月13日	「安心してその人らしく暮らすための支援 を見つめ直す～ 釧路生涯学習センター	長野県自立支援協議会 会長 福岡 寿氏	1名
平成30年11月23日	子ども虐待防止・講演会 「活かそう！発達脳障害」 ～いいところを伸ばすために～	十勝むつみのクリニック 院長 講師：長沼・睦雄	2名

【組織づくり】

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	毎月1回	個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	次月の行事計画、余暇計画、クラブ・サークル活動計画 健康会議、給食会議、施設長より周知事項
主任・管理職会議	毎月1回	職員動向、利用者動向、今後の行事について、その他
管理職会議	毎月1回	各事業所の運営について、事業所間の調整
ホームミーティング	毎月1回	ホーム内の決まりやルールについて、余暇支援について、給食について ホーム内の当番について、その他要望等について

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
虐待防止委員会	毎月1回	利用者の興奮やパニック時の職員の対応について検証と確認、利用者間 における他害行為及び職員に対する他害行為の予測についてと利用者間 トラブルの対応について等
感染予防委員会	毎月1回	インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	防犯対策、防災対策、交通安全等に関する予防対策について

【主要行事】

4月		10月	・釧路地区ミニバレーボール大会
5月		11月	
6月	・ふれあいビールパーティ ・ふれあい広場	12月	・らびい、グループホーム合同クリスマス会
7月	・湿原マラソン	1月	・らびい、グループホーム合同新年会
8月	・焼肉レクレーション	2月	
9月		3月	

平成 30 年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会

自立センター 事業報告

I. 目 的

地域に在住する障害を持つ人達に必要なに応じて必要な相談や援助を行い、社会自立の為の支援・指導を行う。

II. 運営方針

総務課及び支援課を設置し自立センターの適正な運営を図る。

部門は、共同生活援助 自立センターグループホームプルミエと、くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センター ふれん、ジョブコーチ支援事業、相談支援事業 自立センター、就労移行支援事業 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ、就労継続支援事業 くしろジョブコミュニケーションセンターれぼぜ・ふあぶ、自立訓練事業 くしろジョブリカバリーセンターふろぐれ、定着支援事業 くしろジョブサポートセンター ぱさーじゅ の8領域を併せ持ち、各領域はそれぞれの目的に沿った支援活動を行いながら、部門として互いに協調・連携して一層の成果を期すると共に、必要に応じて施設部門との連携も図る。

III. 宣誓

私たち自立センター職員は、関係法令を遵守するとともに社会福祉法人釧路のぞみ協会の倫理規定に沿い福祉サービス従事者及び国・市町村事業の委託業者として節度ある職業人の立場と責務を理解して勤めます。

IV. 重点目標

- (1) 施設運営に係る適正かつ公正な事務及び会計処理を遅延なく実施する
- (2) 利用者の自己決定を支える適正な情報提供を行うと共に、権利擁護を実現する
- (3) 障害特性を理解しそれを踏まえたアセスメント及び支援を実施する
- (4) 各事業間の連携を強化し円滑な運営を実施する
- (5) 新規利用者の確保
- (6) 工賃向上に向けた委託事業開拓の強化
- (7) 関係機関との連携強化
- (8) 帳簿の検閲業務を部門、課毎にも実施し業務に対する理解を促進する
- (9) 超過勤務の正確な申告

V. 事業内容

- (1) 総務課
 - ① 会計・経理に関すること
 - ② 庶務業務に関すること
- (2) 支援課

(ア) 共同生活援助事業 「自立センター グループホーム プルミエ」

グループホームの運営

- ① 生活全般に対する援助活動
- ② 就労に対する援助活動
- ③ 関係諸機関・地域との連携
- ④ 余暇支援

(イ) 相談支援事業 「自立センター」

- ① 利用者個々に応じた日常生活全般の相談・援助活動
- ② サービス等利用計画の作成に関する活動
- ③ 地域の福祉サービス事業所情報を適正に利用者等に提供する。
- ④ 地域の各関係諸団体との連携を密にすると共に情報・啓蒙活動に努め対象者の拡大を図る
- ⑤ 障害支援区分認定調査の実施

(ウ) 就業・生活支援センター「くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん」

- ① 就労に関わる様々な相談・支援活動
- ② 生活面の相談・支援活動
- ③ 地域就労ネットワークの構築
- ④ 就労支援研修会の実施

(エ) ジョブコーチ支援事業

- ① 職場での就労または職場適応に課題を有する障害者へ障害特性を踏まえた直接的、専門的な援助を行う。
- ② 障害者雇用に不安を抱く企業に対して障害者への指導に関することや雇用管理への助言等を行い雇用の促進と安定を援助する

(オ) 就労移行支援事業 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

- ① 作業支援を通じた職業訓練
- ② 職業準備支援を通じた職業訓練
- ③ 社会生活技能支援を通じた対人技能訓練
- ④ 就労を踏まえた生活支援
- ⑤ 一般企業への就労の機会の提供
- ⑥ 就職した利用者への就職後半年間の職場適応支援の提供

(カ) 就労継続支援事業 くしろジョブコミュニケーションセンター れぼぜ

- ① 作業支援を通じた職業訓練
- ② 社会生活支援を通じた対人技能訓練
- ③ 社会自立を目指した生活支援

(キ) 自立訓練事業 くしろジョブリカバリーセンター ぷろぐれ

- ① 社会復帰したいという希望のある高次脳機能障害の方に受障・病状に応じた支援・トレーニングを行う。
- ② 自立生活に課題を有する障がい者の方に対して障害種別を問わず目的に応じた支援、自立機能を高めるトレーニングを行う
- ③ 職場復帰に向けた職場環境の調整

(ケ) 就労定着支援事業 くしろジョブサポートセンター ぱさーじゅ

- ①福祉サービスを利用し半年継続した方への定着支援の提供
- ②月に一度職場訪問の実施
- ③不適応への対応
- ④定着のための生活支援
- ⑤担当者会議の実施
- ⑥職務再構築の提案

(3) その他

① 会議

- ・毎週水曜日職員会議を設け、情報の共有及び事業運営に関して意見交換を行う
- ・各部門会議を月に1回を定期的に開催し支援の充実を図る。
- ・衛生委員会会議の開催
- ・虐待防止委員会の開催
- ・年度末振り返り会議を12月末より開始する
- ・正職員会議及び主任以上会議を開催し運営の充実を図る。
- ・節目にある利用者の個別支援計画会議を設ける。
- ・利用者の包括的な支援を目指し関係諸団体と利用者ケース会議を実施する。
- ・各自立支援協議会への参加

② 研修

- ・支援の知識・技能を高めるための各種研修会への参加及び毎週水曜日に職員研修を行う。
- ・成果については、所内事例発表等を実施し職員研鑽の場を設ける。
- ・支援に有効と判断する外部研修に参加しその結果をレポートにて整理を行い研鑽の場を設ける。

③ 協調

- ・職員はお互いの人間性を責めることなく社会人として責任ある立ち居振る舞いをし、尊重することを義務付ける。これに反するまたは、理解を示さない者は、自立センターで対人業務を行う資質に欠けていると判断する。

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

平成31年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	職業 指導員	生活 支援員	就労 支援員
常勤	1	1	1	1	1
非常勤			7	2	5
合計	1	1	8	3	6

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員
30名	43名

(2)退所の状況(人)

本年度中の 退所者数	移行先		
	一般就労	就労継続A型	その他
22	21	1	0

(3)障害の状況

①障害種別

種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他
人数	4	20	12	10
計	4	20	12	10

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	634	650	626	597	624	606	642	632	649	652	633	608	7,553
主な活動	職業準備訓練 職業適性検査・製品製造・接客・グループワーク・職場実習												

4.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定 災害	実施 時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細

避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。
避難訓練	7～8月	地震 火災	日中		○	○	防災センターで実施 初期消火体験・地震体験

5.主要行事

4月		10月	マンガ喫茶(アラーファ) 運動レク(バティック)
5月	遊学館見学(アラーファ) 別保公園花見レク(バティック) カラオケ(ビストロ)	11月	室内レク(アラーファ)
6月	調理レク(バティック)	12月	室内レク(アラーファ) 調理レク(バティック) カラオケ(ビストロ)
7月	調理実習(アラーファ) 動物園見学(バティック) 別保公園焼肉レク(全体)	1月	ウエスタン外食レク(バティック) 運動レク(バティック)
8月	美術館見学(アラーファ) DVD鑑賞(バティック)	2月	調理実習・スポーツレク(アラーファ) 快活クラブレク(バティック) ウエスタン食事会(ビストロ)
9月	スポーツレク(アラーファ) 調理レク(バティック) プリンスホテル昼食会(全体) ウエスタン昼食会(全体)	3月	マンガ喫茶・食事会(アラーファ) 調理レク(バティック)

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	11/29・12/3・12/5	44

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成30年5月2日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
平成30年9月19日	復命研修 虐待・権利擁護研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 4月25日	障害者就業・生活支援センターの 役割と支援の方法について	若尾 勝己 氏 (NPO法人東松山 障害者就労支援センター)	全職員

平成30年 6月11日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 6月18日	SSS研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	あらんじえ
平成30年 6月20日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
平成30年 7月23日	TTAP & WAIS研修	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
平成30年 11月17日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 11月26日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
平成31年 3月4日	あらんじえACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	あらんじえ
平成31年 3月6日	外傷体験についての心理教育	市立釧路総合病院 精神神経科 臨床心理士 後藤 薫 氏	全職員
平成31年 3月8日	ACT「バーバル合気道」	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 6月10日	夢や希望を叶える サポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	72名
平成30年 6月22日	障害者雇用ステップアップ 企業セミナー 釧路プリンスホテル	秦 政 氏 (NPO法人障害者就業・雇用 支援センター)	36名
平成30年 7月22日	発達障害のある人への サポート研修会 釧路プリンスホテル	梅永雄二 氏・倉本義則 氏 大澤隆則 氏・高石徳香 氏 井原佳代 氏	115名
平成30年 11月1日	道東3圏域合同フォーラム及び 第4回全道障害者就業・生活支援 センター職員研修・連絡会議 コアかかやき	北海道障害者職業センター 所長 馬場 正充氏	27名
平成30年 11月18日	精神・発達障がいのある方への相談 支援技法ワークショップ 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	61名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	4日 会議	今年度の職員研修について
	11日 会議	障害特性について

5月	9日	研修	各作業班からSSTの振り返り
	16日	研修	ケース検討会議(あらーふぁ)
	30日	研修	利用半年を切った方のケース会議
6月	6日	会議	復命研修「発達が気になる子の素敵を伸ばすために」
	13日	研修	ケース検討会議(べじぶる)
7月	4日	研修	WAISについて
	11日	研修	自閉症の特性と支援方法
	18日	会議 ケース	ケース検討会議(バティック)
8月	1日	研修	課題分析と指示の4階層について①
	6日	研修	課題分析と指示の5階層について②
9月	5日	会議 ケース	ケース検討会議(ビストロ)
	12日	研修	防災・災害マニュアルの確認
	26日	会議 ケース	個別支援計画10月開始の方のケース会議
10月	3日	研修	ぱさーじゅ支援について
	10日	研修	SST研修進捗状況・事例発表
	24日	会議 ケース	個別支援計画11月開始の方のケース会議
	31日	会議 ケース	利用半年を切った方のケース会議
11月	21日	会議 ケース	個別支援計画12月開始の方のケース会議 利用半年を切った方のケース会議
12月	5日	研修	防犯マニュアルについて
	12日	会議 ケース	ケース検討会議(ぷあぶ)
	19日	会議 ケース	1月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返り)
1月	9日	会議	年度末振り返り発表
	15日	会議	年度末振り返り発表
	30日	会議	各作業班の振り返り(各作業班発表)
2月	6日	会議	各作業班・各部門の振り返り発表
	13日	会議	新年度 各班・各部門の計画発表
	20日	会議 ケース	3月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	新個別支援計画の説明
3月	13日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	20日	会議 ケース	4月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	作業	新年度に向けた引継ぎ 新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえⅡ

平成31年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	職業 指導員	生活 支援員	就労 支援員
常勤	1	1	1	0	1
非常勤			3	2	1
合計	1	1	4	2	2

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員
20名	9名

(2)退所の状況(人)

本年度中の 退所者数	移行先		
	一般就労	就労継続A型	その他
3	3	0	0

(3)障害の状況

①障害種別

種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他
人数		8	2	
計	0	8	2	0

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	84	125	158	152	156	121	157	160	156	131	156	184	1,740
主な活動	職業準備訓練 職業適性検査・製品製造・接客・グループワーク・職場実習												

4.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。
避難訓練	8月	地震 火災	日中		○	○	防災センターで実施 初期消火体験・地震体験

5.主要行事

4月	遊学館見学	10月	
5月		11月	
6月		12月	
7月	焼肉レク(別保公園)	1月	
8月	調理レク	2月	焼肉レク(ウエスタン)
9月		3月	

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	11/29・12/3・12/5	7

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成30年5月2日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
平成30年9月19日	復命研修 虐待・権利擁護研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 4月25日	障害者就業・生活支援センターの 役割と支援の方法について	若尾 勝己 氏 (NPO法人東松山 障害者就労支援センター)	全職員
平成30年 6月11日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 6月18日	SSS研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	あらんじえ
平成30年 6月20日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	全職員

平成30年 7月23日	TTAP & WAIS研修	梅永雄二氏・倉本義則氏	全職員
平成30年 11月17日	SST研修会	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 11月26日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記氏	全職員
平成31年 3月4日	あらんじえACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記氏	あらんじえ
平成31年 3月6日	外傷体験についての心理教育	市立釧路総合病院 精神神経科 臨床心理士 後藤 薫氏	全職員
平成31年 3月8日	ACT「バーバル合気道」	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記氏	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 6月10日	夢や希望を叶える サポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	72名
平成30年 6月22日	障害者雇用ステップアップ 企業セミナー 釧路プリンスホテル	秦 政氏 (NPO法人障害者就業・雇用 支援センター)	36名
平成30年 7月22日	発達障害のある人への サポート研修会 釧路プリンスホテル	梅永雄二氏・倉本義則氏 大澤隆則氏・高石徳香氏 井原佳代氏	115名
平成30年 11月1日	道東3圏域合同フォーラム及び 第4回全道障害者就業・生活支援 センター職員研修・連絡会議 コアかかやき	北海道障害者職業センター 所長 馬場 正充氏	27名
平成30年 11月18日	精神・発達障がいのある方への相談 支援技法ワークショップ 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	61名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日		種別	主な議題・テーマ等
4月	4日	会議	今年度の職員研修について
	11日	会議	障害特性について
5月	9日	研修	各作業班からSSTの振り返り
	16日	研修	ケース検討会議(あらーふあ)
	30日	研修	利用半年を切った方のケース会議
6月	6日	会議	復命研修「発達が気になる子の素敵を伸ばすために」
	13日	研修	ケース検討会議(べじぶる)
	4日	研修	WAISについて

7月	11日	研修	自閉症の特性と支援方法
	18日	会議 ケース	ケース検討会議(バティック)
8月	1日	研修	課題分析と指示の4階層について①
	6日	研修	課題分析と指示の5階層について②
9月	5日	会議 ケース	ケース検討会議(ビストロ)
	12日	研修	防災・災害マニュアルの確認
	26日	会議 ケース	個別支援計画10月開始の方のケース会議
10月	3日	研修	ぱさーじゅ支援について
	10日	研修	SST研修進捗状況・事例発表
	24日	会議 ケース	個別支援計画11月開始の方のケース会議
	31日	会議 ケース	利用半年を切った方のケース会議
11月	21日	会議 ケース	個別支援計画12月開始の方のケース会議 利用半年を切った方のケース会議
12月	5日	研修	防犯マニュアルについて
	12日	会議 ケース	ケース検討会議(ぷあぷ)
	19日	会議 ケース	1月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返り)
1月	9日	会議	年度末振り返り発表
	15日	会議	年度末振り返り発表
	30日	会議	各作業班の振り返り(各作業班発表)
2月	6日	会議	各作業班・各部門の振り返り発表
	13日	会議	新年度 各班・各部門の計画発表
	20日	会議 ケース	3月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	新個別支援計画の説明
3月	13日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	20日	会議 ケース	4月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	作業	新年度に向けた引継ぎ 新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブサポートセンター ぱさーじゅ

平成31年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	就労定着支援員
常勤	1	1	
非常勤		1	4
合計	1	2	4

2.利用者の状況

① 就労定着支援の総利用者数
58 人
② ①のうち前年度末時点の就労継続者数
57 人
③ 就労定着率(②÷①)
98.28 %

3.事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数							23	22	23	23	20	23	134
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用のべ人数							58	56	62	60	57	61	354
主な活動	事業所訪問・家庭訪問・グループワーク・生活支援・交流会												

5.主要行事

10月	
11月	
12月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)
1月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (コアおおぞら)

2月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)
3月	ぱさーじゅ交流会・個別面談 (自立センタービストロ)

6.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 11月17日	SST研修会	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 11月26日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記氏	全職員
平成31年 3月4日	あらんじえACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記氏	あらんじえ
平成31年 3月6日	外傷体験についての心理教育	市立釧路総合病院 精神神経科 臨床心理士 後藤 薫氏	全職員
平成31年 3月8日	ACT「バーバル合気道」	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記氏	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 11月1日	道東3圏域合同フォーラム及び 第4回全道障害者就業・生活支援 センター職員研修・連絡会議 コアかかやき	北海道障害者職業センター 所長 馬場 正充氏	27名
平成30年 11月18日	精神・発達障がいのある方への相談 支援技法ワークショップ 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	61名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
10月	3日 研修	ぱさーじゅ支援について
	10日 研修	SST研修進捗状況・事例発表
	24日 会議 ケース	個別支援計画11月開始の方のケース会議
	31日 会議 ケース	利用半年を切った方のケース会議
11月	21日 会議 ケース	個別支援計画12月開始の方のケース会議 利用半年を切った方のケース会議
12月	5日 研修	防犯マニュアルについて
	12日 会議 ケース	ケース検討会議(ふあぶ)

	19日	会議 ケース	1月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返り)
1月	9日	会議	年度末振り返り発表
	15日	会議	年度末振り返り発表
	30日	会議	各作業班の振り返り(各作業班発表)
2月	6日	会議	各作業班・各部門の振り返り発表
	13日	会議	新年度 各班・各部門の計画発表
	20日	会議 ケース	3月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	新個別支援計画の説明
3月	13日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	20日	会議 ケース	4月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	作業	新年度に向けた引継ぎ 新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブコミュニケーションセンターれぽぜ

平成31年3月31日現在

【就労継続支援B型事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	生活 支援員	目標工賃 達成 指導員	職業 指導員
常勤	1	1		1	1
非正規			4		7
合計	1	1	4	1	8

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
33名	51名	男 40.8歳	女 44.0歳	全体 42.1歳	71歳	18歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	2	9	5	5	5	4	1	0	31
女	0	2	6	7	2	3	0	0	20

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	6	8	9	8						31
女	4	8	2	6						20

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場			
		家庭	他事業所	就労	その他
男	3	1		1	1
女	1				

(4)障害の状況

①障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	その他
男	1	4	7	8			20
女	1	2	4	2			9
計	2	6	11	10	0	0	29

(5)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用のべ人数	691	783	786	816	801	790	840	814	840	813	701	802	9,477
主な活動	シール貼り、段ボール折り、ネジ磨き、お菓子箱折り、ポスティング、贈答用箱折り												

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。
避難訓練	9月	地震 火災	日中		○	○	防災センターで実施 初期消火体験・地震体験

4.主要行事

4月	運動/レクリエーション	10月	運動/レクリエーション
5月	花見/レクリエーション	11月	
6月	運動/レクリエーション	12月	クリスマス会、運動/レクリエーション
7月	焼き肉/レクリエーション	1月	
8月	運動/レクリエーション	2月	運動/レクリエーション
9月	動物園/レクリエーション	3月	

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	11/29・12/3・12/5	47

5.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成30年5月2日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
平成30年9月19日	復命研修 虐待・権利擁護研修

6.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 4月25日	障害者就業・生活支援センターの 役割と支援の方法について	若尾 勝己 氏 (NPO法人東松山 障害者就労支援センター)	全職員
平成30年 6月11日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 6月18日	SSS研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	あらんじえ
平成30年 6月20日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
平成30年 7月23日	TTAP & WAIS研修	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
平成30年 11月17日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 11月26日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
平成31年 3月4日	あらんじえACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	あらんじえ
平成31年 3月6日	外傷体験についての心理教育	市立釧路総合病院 精神神経科 臨床心理士 後藤 薫 氏	全職員
平成31年 3月8日	ACT「バーバル合気道」	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 6月10日	夢や希望を叶える サポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	72名
平成30年 6月22日	障害者雇用ステップアップ 企業セミナー 釧路プリンスホテル	秦 政 氏 (NPO法人障害者就業・雇用 支援センター)	36名
平成30年 7月22日	発達障害のある人への サポート研修会 釧路プリンスホテル	梅永雄二 氏・倉本義則 氏 大澤隆則 氏・高石徳香 氏 井原佳代 氏	115名
平成30年 11月1日	道東3圏域合同フォーラム及び 第4回全道障害者就業・生活支援 センター職員研修・連絡会議 コアかかやき	北海道障害者職業センター 所長 馬場 正充氏	27名
平成30年 11月18日	精神・発達障がいのある方への相談 支援技法ワークショップ 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	61名

7.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日		種別	主な議題・テーマ等
4月	4日	会議	今年度の職員研修について
	11日	会議	障害特性について
5月	9日	研修	各作業班からSSTの振り返り
	16日	研修	ケース検討会議(あらーふあ)
	30日	研修	利用半年を切った方のケース会議
6月	6日	会議	復命研修「発達が気になる子の素敵を伸ばすために」
	13日	研修	ケース検討会議(べじぶる)
7月	4日	研修	WAISについて
	11日	研修	自閉症の特性と支援方法
	18日	会議 ケース	ケース検討会議(バティック)
8月	1日	研修	課題分析と指示の4階層について①
	6日	研修	課題分析と指示の5階層について②
9月	5日	会議 ケース	ケース検討会議(ピストロ)
	12日	研修	防災・災害マニュアルの確認
	26日	会議 ケース	個別支援計画10月開始の方のケース会議
10月	3日	研修	ぱさーじゅ支援について
	10日	研修	SST研修進捗状況・事例発表
	24日	会議 ケース	個別支援計画11月開始の方のケース会議
	31日	会議 ケース	利用半年を切った方のケース会議
11月	21日	会議 ケース	個別支援計画12月開始の方のケース会議 利用半年を切った方のケース会議
12月	5日	研修	防犯マニュアルについて
	12日	会議 ケース	ケース検討会議(ぷあぷ)
	19日	会議 ケース	1月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返り)
1月	9日	会議	年度末振り返り発表
	15日	会議	年度末振り返り発表
	30日	会議	各作業班の振り返り(各作業班発表)
2月	6日	会議	各作業班・各部門の振り返り発表
	13日	会議	新年度 各班・各部門の計画発表
	20日	会議 ケース	3月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	新個別支援計画の説明
3月	13日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	20日	会議 ケース	4月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	作業	新年度に向けた引継ぎ 新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター くしろジョブリカバリーセンターぷろぐれ

平成31年3月31日現在

【自立訓練事業(生活訓練)】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	生活 支援員
常勤	1	1	1
非常勤			
合計	1	1	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
7名	9名	男 41.8歳	女 41歳	全体 41.4歳	56歳	23歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男		1	3	1	3				8
女				1					1

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～2年 未満	2～3年 未満	計(人)
男	5	3	0	8
女	1	0	0	1

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	利用前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	3	5	8				
女	0	1	1				

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続通所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	3	1	2				8
女	2		2				1

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別

	身体障害	精神障害	知的障害	発達障害	その他
男	3	5			

女	1				
計	4	5	0	0	0

※自立支援医療受給者証保持者 2人

(6)利用者状況

定員	現員	障害 程度 区分	区分	1	2	3	4	5	6	その他	計
7名	9名		男		1	1	1				3
			女								0
			計	0	1	1	1	0	0	0	3

(7)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	136	159	142	167	167	144	139	140	138	130	133	154	1,749
主な活動	評価(心身機能、活動、参加、環境因子、個人因子、職業適性など)と個別プログラムの立案、心身機能の維持、向上に向けた練習・ADLやIADLの練習・余暇活動の提供・職業準備性向上に向けたトレーニング・心理教育・家族懇談会など												

3.主要行事

4月	運動レク(サンアビ)	10月	運動レク(サンアビ)
5月	花見レク(浜中) 運動レク(サンアビ)	11月	販売会(図書館) 運動レク(サンアビ)
6月	外出レク(イオン)	12月	食事会(ウエスタン) 運動レク(サンアビ)
7月	焼肉レク(別保公園) 恋問ドライブレク	1月	運動レク(サンアビ)
8月	調理レク 運動レク(サンアビ)	2月	外出レク(MOO) 運動レク(サンアビ)
9月	動物園見学 食事会(ウエスタン)	3月	運動レク(サンアビ)

健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	11/29・12/3・12/5	9

4.日間計画

9:00～9:30	身だしなみチェック 朝のミーティング スケジュール確認 ラジオ体操 MWT
9:30～10:20	個別訓練
10:30～11:30	フィットネスルーム
11:30～11:45	フリータイム
11:45～12:00	実績記録、移動
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:00	個別訓練
14:00～14:50	集団訓練
14:50～15:15	清掃活動
15:15～	帰りのミーティング MWT
15:30～	終了

5.週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム
	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (言語訓練)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (SST)		・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (グループミーティング)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (園舎外)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 余暇活動

6.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	7月	地震	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	11月	火災	日中	想定		○	移動方法・避難手順の説明を行う。

7.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成30年5月2日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
平成30年9月19日	復命研修 虐待・権利擁護研修

8.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 4月25日	障害者就業・生活支援センターの 役割と支援の方法について	若尾 勝己 氏 (NPO法人東松山 障害者就労支援センター)	全職員
平成30年 6月11日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 6月18日	SSS研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	あらんじえ
平成30年 6月20日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	全職員
平成30年 7月23日	TTAP & WAIS研修	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
平成30年 11月17日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 11月26日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	全職員
平成31年 3月4日	あらんじえACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	あらんじえ
平成31年 3月6日	外傷体験についての心理教育	市立釧路総合病院 精神神経科 臨床心理士 後藤 薫 氏	全職員
平成31年 3月8日	ACT「バーバル合気道」	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 勿田文記 氏	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 6月10日	夢や希望を叶える サポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	72名
平成30年 6月22日	障害者雇用ステップアップ 企業セミナー 釧路プリンスホテル	秦 政 氏 (NPO法人障害者就業・雇用 支援センター)	36名

平成30年 7月22日	発達障害のある人への サポート研修会 釧路プリンスホテル	梅永雄二氏・倉本義則氏 大澤隆則氏・高石徳香氏 井原佳代氏	115名
平成30年 11月1日	道東3圏域合同フォーラム及び 第4回全道障害者就業・生活支援 センター職員研修・連絡会議 コアかかやき	北海道障害者職業センター 所長 馬場 正充氏	27名
平成30年 11月18日	精神・発達障がいのある方への相談 支援技法ワークショップ 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	61名

9.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日		種別	主な議題・テーマ等
4月	4日	会議	今年度の職員研修について
	11日	会議	障害特性について
5月	9日	研修	各作業班からSSTの振り返り
	16日	研修	ケース検討会議(あらーふあ)
	30日	研修	利用半年を切った方のケース会議
6月	6日	会議	復命研修「発達が気になる子の素敵を伸ばすために」
	13日	研修	ケース検討会議(ペじぶる)
7月	4日	研修	WAISについて
	11日	研修	自閉症の特性と支援方法
	18日	会議 ケース	ケース検討会議(バティック)
8月	1日	研修	課題分析と指示の4階層について①
	6日	研修	課題分析と指示の5階層について②
9月	5日	会議 ケース	ケース検討会議(ビストロ)
	12日	研修	防災・災害マニュアルの確認
	26日	会議 ケース	個別支援計画10月開始の方のケース会議
10月	3日	研修	ぱさーじゅ支援について
	10日	研修	SST研修進捗状況・事例発表
	24日	会議 ケース	個別支援計画11月開始の方のケース会議
	31日	会議 ケース	利用半年を切った方のケース会議
11月	21日	会議 ケース	個別支援計画12月開始の方のケース会議 利用半年を切った方のケース会議
12月	5日	研修	防犯マニュアルについて
	12日	会議 ケース	ケース検討会議(ぶあぶ)
	19日	会議 ケース	1月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返り)
1月	9日	会議	年度末振り返り発表
	15日	会議	年度末振り返り発表
	30日	会議	各作業班の振り返り(各作業班発表)
2月	6日	会議	各作業班・各部門の振り返り発表
	13日	会議	新年度 各班・各部門の計画発表

	20日	会議 ケース	3月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	新個別支援計画の説明
3月	13日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	20日	会議 ケース	4月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	作業	新年度に向けた引継ぎ 新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター グループホームプルミエ

平成31年3月31日現在

【共同生活援助事業】

1.職員の状況

職種	管理者	サービス 管理 責任者	世話人	生活 支援員
常勤	1	1	5	2
非常勤		1	7	4
合計	1	2	12	6

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員	性別	
37名	37名	男	女
		25名	12名

ホーム名	定員	現員	障がい支援区分			
			区分1及び非該当	区分2及び非該当	区分3及び非該当	区分4及び非該当
プルミエ	5	5	0	0	4	1
プルミエドゥ	5	5	0	0	5	0
ルシエル	6	6	0	2	2	2
ソレイユ	5	5	0	1	3	0
プレザン	5	5	0	2	3	1
フェミナン	6	6	0	0	4	2
フルール	5	5	0	1	1	3
計	37	37	0	6	22	9

(2)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	24	1	1				
女	11	1	1				

※その他の内訳()

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2					2	25
女							12

※その他の内訳(一人暮らし)

(4)就労状況

ホーム名	現員	就労状況			
		一般就労	就労継続A型	就労継続B型	就労移行
プルミエ	5	2		3	
プルミエドゥ	5	2	2	1	
ルシエル	6	2	1	2	1
ソレイユ	5	3	1		1
プレザン	5	5			
フェミナン	6	3		3	
フルール	5	2		1	2
計	37	19	4	10	4

3.健康管理

実施項目	実施時期	備考
健康診断	9月～2月	特定健診、、大腸検診等
インフルエンザ予防接種	11～12月	利用者全員
体調不良時通院同行	随時	
服薬管理	随時	
体重・血圧測定	月1回	利用者全員
ダイエット支援	随時	対象利用者

4.防災対策

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	設定時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	6月	火災	夜間	○	○	○	世話人不在時の設定
避難訓練	3月	地震 火災	日中	○	○	○	地震から火災の設定
避難訓練	12月	風水害	日中 夜間			○	図上訓練

5.行事・余暇支援

実施日	行事	利用者数	同行職員数	行先等
H30.5.10～13	グループホーム旅行	36	14	沖縄
H30.9.5	いちの会親睦レクリエーション	14	1	パレスボール・霧のビール園
H31.1.18～19	新年旅行	11	6	阿寒湖鶴雅
H31.2.19	昼食会	4	1	ぷちどーる
H31.3.10	ボウリング・昼食会	6	1	Xボウル・ぷちどーる
H31.3.24	ボウリング・昼食会	4	1	パレスボール・北菜亭

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成30年5月2日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修
平成30年9月19日	復命研修 虐待・権利擁護研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 4月25日	障害者就業・生活支援センターの 役割と支援の方法について	若尾 勝己 氏 (NPO法人東松山 障害者就労支援センター)	全職員
平成30年 6月11日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 6月18日	SSS研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	あらんじえ
平成30年 6月20日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
平成30年 7月23日	TTAP & WAIS研修	梅永雄二 氏・倉本義則 氏	全職員
平成30年 11月17日	SST研修会	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成30年 11月26日	ACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員
平成31年 3月4日	あらんじえACT研修会	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	あらんじえ
平成31年 3月6日	外傷体験についての心理教育	市立釧路総合病院 精神神経科 臨床心理士 後藤 薫 氏	全職員
平成31年 3月8日	ACT「バーバル合気道」	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成30年 6月10日	夢や希望を叶える サポートプラン研修会 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	72名
平成30年 6月22日	障害者雇用ステップアップ 企業セミナー 釧路プリンスホテル	秦 政 氏 (NPO法人障害者就業・雇用 支援センター)	36名

平成30年 7月22日	発達障害のある人への サポート研修会 釧路プリンスホテル	梅永雄二氏・倉本義則氏 大澤隆則氏・高石徳香氏 井原佳代氏	115名
平成30年 11月1日	道東3圏域合同フォーラム及び 第4回全道障害者就業・生活支援 センター職員研修・連絡会議 コアかかやき	北海道障害者職業センター 所長 馬場 正充氏	27名
平成30年 11月18日	精神・発達障がいのある方への相談 支援技法ワークショップ 釧路プリンスホテル	土屋 徹氏 (Office夢風舎 舎長)	61名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日		種別	主な議題・テーマ等
4月	4日	会議	今年度の職員研修について
	11日	会議	障害特性について
5月	9日	研修	各作業班からSSTの振り返り
	16日	研修	ケース検討会議（あらーふあ）
	30日	研修	利用半年を切った方のケース会議
6月	6日	会議	復命研修「発達が気になる子の素敵を伸ばすために」
	13日	研修	ケース検討会議（べじぶる）
7月	4日	研修	WAISについて
	11日	研修	自閉症の特性と支援方法
	18日	会議 ケース	ケース検討会議（バティック）
8月	1日	研修	課題分析と指示の4階層について①
	6日	研修	課題分析と指示の5階層について②
9月	5日	会議 ケース	ケース検討会議（ビストロ）
	12日	研修	防災・災害マニュアルの確認
	26日	会議 ケース	個別支援計画10月開始の方のケース会議
10月	3日	研修	ぱさーじゅ支援について
	10日	研修	SST研修進捗状況・事例発表
	24日	会議 ケース	個別支援計画11月開始の方のケース会議
	31日	会議 ケース	利用半年を切った方のケース会議
11月	21日	会議 ケース	個別支援計画12月開始の方のケース会議 利用半年を切った方のケース会議
12月	5日	研修	防犯マニュアルについて
	12日	会議 ケース	ケース検討会議（ぷあぶ）
	19日	会議 ケース	1月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	会議	年度末担務振り返り（担務振り返り）
1月	9日	会議	年度末振り返り発表
	15日	会議	年度末振り返り発表
	30日	会議	各作業班の振り返り（各作業班発表）
2月	6日	会議	各作業班・各部門の振り返り発表
	13日	会議	新年度 各班・各部門の計画発表

	20日	会議 ケース	3月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	新個別支援計画の説明
3月	13日	会議	新年度各作業班 支援活動計画発表
	20日	会議 ケース	4月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	26日	作業	新年度に向けた引継ぎ 新帳簿の作成

平成30年度における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告

〈集計期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日〉

(1) 運営法人名 社会福祉法人釧路のぞみ協会

(2) センター名 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん

(3) 実施体制

イ 就業支援担当者

注) 国からの委託（障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業））で配置している者

氏名	主な職歴 (職種のみで可、所属の記載は不要)	保有資格 就業支援の実務経験年数
高谷 さふみ	幼稚園教諭、ジョブコーチ	教員免許、保育士 24年
濱淵 麻友	職業支援員、就業支援員、教員	社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許 12年
原田 千春	介護士、職業支援員、就業支援員	介護福祉士 6年
大水 賢憲	看護師	看護師 0年
吉川 将人	生活支援員、児童指導員、職業指導員	介護福祉士 1年

ロ 生活支援担当者

注) 都道府県からの委託（障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業））で配置している者

氏名	主な職歴 (職種のみで可、所属の記載は不要)	保有資格 生活支援の実務経験年数
森島 貴子	生活支援員	社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許 11年
末永 浩之	生活支援員	社会福祉士、職場適応援助者 0年

注) 本報告において収集する支援担当者に関する情報（個人情報）については、障害者就業・生活支援センター事業の実施状況の把握等、適正な運営に資するための参考として利用します。

※イ、ロについて行が不足する場合には、行の追加は行わず、別シート「補足様式」にて登録すること。

ハ 上記イ及びロ以外で配置している支援担当者

(法人負担又は地方自治体からの補助等による)

(うち地方自治体からの補助等により配置している者)

① 法人内の他業務と兼務で配置している者

0 人

(0 人)

② センター業務専任で配置している者

0 人

(0 人)

(4) 法人におけるその他の事業の実施状況（実施している場合のみ記載）

① ジョブコーチ助成金における第1号ジョブコーチの配置及び支援実施状況

配置数 4 人

支援対象者数 48 人

② 障害者の態様に応じた多様な委託訓練の受託実施状況

訓練受講者数 0 人

注) 以下Ⅰ～Ⅵの項目については、当該法人が実施している他の業務の実績ではなく、
障害者就業・生活支援センター事業の実績を記載すること。

Ⅰ 支援対象障害者の状況

(1) 登録状況（障害種別、就業状況） (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
在職中	77	22	225	52	161	93	556
求職中	4	1	7	0	4	6	21
その他	43	15	132	23	143	108	426
合計	124	38	364	75	308	207	1003

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	59	6	3	25	93
求職中	4	0	0	2	6
その他	65	6	4	33	108
合計	128	12	7	60	207

注1) 平成30年度末(平成31年3月末)時点で支援対象として登録している障害者の数を計上する。

原則、合計値については、四半期報告の第4四半期報告の合計の数値と一致していること。

長期間支援を行っていない者、支援を必要としなくなった者、連絡がとれない者など、登録を取り消した者等は除く。

注2) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、別添の留意点を確認すること。

(2) 平成30年度中に新規に登録した障害者の数 132人

(3) 平成30年度新規求職者数（延べ人数） (人)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
25	27	33	25	110

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
16	1	0	8	25

注) 四半期報告毎の新規求職者数の合計と一致すること。

(4) 上記(1)の登録者のうち法人内施設の利用者の割合 約 1.09671割

(5) 支援対象障害者（登録者）の居住地の状況 (人)

①同一市区町村内	835
②同一障害保健福祉圏域内(①を除く)	90
③上記①及び②以外	78
合計	1003

注) 上記(1)の合計と数値が一致しているか確認すること。

(6) 上記(2)の新規登録者の利用経路 (支援センターを利用するに至った経緯(経路)) (人)

①ハローワーク	55
②地域障害者職業センター	0
③特別支援学校	17
④就労移行支援事業所	3
⑤上記④以外の福祉サービス事業所	14
⑥福祉事務所、市町村役場等行政機関	9
⑦直接利用 (家族を含む)	12
⑧上記以外 ※	22
合計	132

注1) 正確な人数の把握が困難な場合は、おおよその数を計上すること。

注2) 上記(2)と合計の数値が一致しているか確認すること。

※「⑧上記以外」の具体的な利用経路

企業、医療機関、一般高等学校、短期大学

II 障害者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障害者に対する相談・支援

① 支援対象障害者に対する相談・支援件数(手段別) (件)

※直接本人・家族を支援するものに限り、他機関とのケース会議(本人不在)等の間接支援は含まない。

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	165	659	491	768	2,083
電話・Fax・e-mail (本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む)	327	511	615	1,959	3,412
職場訪問(定着支援のほか、職場実習支援を含む)	116	264	234	638	1,252
家庭・利用施設への訪問	8	58	5	40	111
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援等)	320	913	517	1,443	3,193
合計	936	2,405	1,862	4,848	10,051

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	399	48	13	308	768
電話・Fax・e-mail (本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む)	701	88	31	1,139	1,959
職場訪問(定着支援のほか、職場実習支援を含む)	212	31	4	391	638
家庭・利用施設への訪問	29	1	0	10	40
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援等)	370	63	30	980	1,443
合計	1711	231	78	2,828	4,848

※「その他」の具体的な支援内容(主なものを記載)

ケース会議への参加、ハローワークへの同行、医療機関への同行、行政窓口への手続き支援

② 相談・支援件数(内容別)

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	534	715	791	2,823	4,863
職場定着に向けた相談・支援	66	411	341	463	1,281
日常生活、社会生活に関する相談・支援	65	482	111	266	924
就業と生活の両方にわたる相談・支援	271	797	619	1,296	2,983
合計	936	2,405	1,862	4,848	10,051

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	792	118	39	1,874	2,823
職場定着に向けた相談・支援	222	23	7	211	463
日常生活、社会生活に関する相談・支援	118	9	15	124	266
就業と生活の両方にわたる相談・支援	579	81	17	619	1,296
合計	1711	231	78	2,828	4,848

注1) 上記①と合計の数値が一致することを確認すること。

原則、合計値については、四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。

注2) 「就職」「職場定着」「日常生活、社会生活」のいずれかに分類し、分けられない場合のみ「就業と生活の両方にわたる」に分類すること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。

内容別に集計していない場合には、おおその数値を計上すること。

ただし、日課的に行っている出勤の確認等ごく軽微な電話連絡等は含めないこと。

(2) 個別支援計画の作成状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
37	71	78	101	287

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
63	6	3	29	101

(3) 地域障害者職業センターへの職業評価依頼件数

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
1	27	7	7	42

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
6	1	0	0	7

(4) 併設施設又は提携施設における基礎訓練の実施状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
1	23	10	12	46

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
11	1	0	0	12

注1) 就労移行支援事業者、就労継続支援事業者、授産施設、更生施設等に依頼して実施した基礎訓練の件数を計上する。

注2) 企業内授産等は、基礎訓練に含むこと。

(5) 職業準備訓練のあつせん状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
2	1	8	3	14

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
1	0	1	1	3

注) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12月分の合計の数値と一致していること。

(6) 職場実習のあっせん状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上4ヵ月以内）	8	10	12	14	44
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」等	1	0	1	0	2
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. その他（労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度等）	7	14	13	7	41
合計	16	24	26	21	87

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上4ヵ月以内）	13	1	0	0	14
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」等	0	0	0	0	0
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. その他（労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度等）	5	1	0	1	7
合計	18	2	0	1	21

注1) 「職場実習等」に計上できるものについては、別添の留意点を確認すること。

注2) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

※その他の主な内容

北海道労働局障害者職場実習推進事業、釧路市実習、釧路町実習、根室市実習

(7) 各種就業支援制度の活用状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援（上記(6)Cを含む）	5	26	8	9	48
②障害者試行雇用（トライアル雇用）事業	7	11	13	8	39
③その他の就業支援制度 ※	0	0	0	0	0
合計	12	37	21	17	87

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援（上記(6)Cを含む）	5	0	0	4	9
②障害者試行雇用（トライアル雇用）事業	4	1	0	3	8
③その他の就業支援制度 ※	0	0	0	0	0
合計	9	1	0	7	17

※「その他の就業支援制度」の具体的な内容

(8) 支援対象障害者の就職件数

① 一般事業所への就職件数 (※1ヵ月以上の雇用) (件)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	12 (2)	12 (0)	21	16	61
短時間① (20時間以上30時間未満)	6 (0)	16 (1)	7	2	31
短時間② (20時間未満)	0 (0)	0 (0)	1	2	3
合計	18 (2)	28 (1)	29	20	95

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	10	1	0	5	16
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	0	0	2	2
短時間② (20時間未満)	1	1	0	0	2
合計	11	2	0	7	20

注1) 「就職件数」の計上の仕方については、別添の留意点を確認すること。(1ヵ月以上の雇用であること等)

注2) 前年度以前に就職し、雇用継続している者の数は含まない。

注3) 原則、合計値については、四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

② 就労継続支援雇用型事業所、福祉工場への就職件数

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
短時間① (20時間以上30時間未満)	0 (0)	2 (0)	3	1	6
短時間② (20時間未満)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
合計	0 (0)	2 (0)	3	1	6

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	0	0	0	0	0
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	1	0	0	1
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	0	1

③ 上記①②以外の就職件数

5 件

例) 1ヵ月未満の雇用等

(9) 職場定着支援の実施状況

① 職場訪問による職場定着支援の実施件数

310 件

注1) 上記(1)②で計上した職場定着に向けた相談・支援のうち、職場訪問により定着支援を行った件数のみを計上すること。

注2) 四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

②平成29年4月から平成30年3月までに就職した者のうち、就職後6ヶ月時点及び就職後1年経過時点の在職者数

A. 平成29年4月～平成30年3月までの就職件数（29年度実績）（件）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
一般（30時間以上）	11	(2)	44	(3)	11	6	72
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	(0)	6	(0)	8	5	20
短時間②（20時間未満）	0	(0)	1	(0)	1	1	3
合計	12	(2)	51	3	20	12	95

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般（30時間以上）	6	0	0	0	6
短時間①（20時間以上30時間未満）	4	0	0	1	5
短時間②（20時間未満）	0	0	0	1	1
合計	10	0	0	2	12

注1) 平成29年度年次報告の一般事業所への就職件数(※1ヶ月以上の雇用)と一致していること

B. 上記Aのうち就職後6ヶ月経過時点での在職者数（人）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
合計	12	(2)	48	(3)	13	11	84

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
9	0	0	2	11

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

C. 6ヶ月経過時点の定着率（B／A）（％）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
合計	100.0%	100.0%	94.1%	100.0%	65.0%	91.7%	88.5%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
90.0%	0.0%	0.0%	100.0%	91.7%

注1) B欄の合計／A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

D. 上記Aのうち就職後1年経過時点での在職者数（人）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
合計	12	(2)	47	(3)	12	11	82

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
9	0	0	2	11

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

Ｅ．１年経過時点の定着率（Ｄ／Ａ）

（％）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
合計	100.0%	100.0%	92.2%	100.0%	60.0%	91.7%	86.4%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
90.0%	0.0%	0.0%	100.0%	91.7%

注1) D欄の合計／A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

Ｆ．平成29年4月～平成30年3月までの就職件数のうち、雇用契約等により1年以内に離職することが明白な者を除いた就職件数（29年度実績）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
一般（30時間以上）	11	(2)	43	(3)	9	6	69
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	(0)	6	(0)	8	5	20
短時間②（20時間未満）	0	(0)	0	(0)	1	1	2
合計	12	(2)	49	3	18	12	91

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般（30時間以上）	6	0	0	0	6
短時間①（20時間以上30時間未満）	4	0	0	1	5
短時間②（20時間未満）	0	0	0	1	1
合計	10	0	0	2	12

注) 上記Aの就職件数から、雇用契約等の内容等により1年以内に離職することが明白な者を除いた就職件数を記載

(1年以内の有期雇用契約であるが、更新規定がある場合等、1年以上引き続き雇用される可能性がある者については件数から除かないこと。)

Ｇ．上記Ｆのうち就職後１年経過時点での在職者数

（人）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
合計	12	(2)	47	(3)	12	11	82

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
9	0	0	2	11

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

Ｈ．１年経過時点の定着率（Ｄ／Ａ）

（％）

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
合計	100.0%	100.0%	96.0%	100.0%	66.7%	91.7%	90.2%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
90.0%	0.0%	0.0%	100.0%	91.7%

注1) G欄の合計／F欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

③定期的な集まり（支援対象障害者同士の交流）開催状況

注）センターの支援対象障害者を対象として取り組んでいることで、センターが主催するものがあれば記載してください。（本人活動支援を含む）※同窓会、茶話会、その他余暇行事等、雇用安定等事業で実施すべきものではないものは除く。

在職者交流会、労働局委託のSST等グループワーク実施

Ⅲ 事業主に対する支援の実施状況

（１）相談・支援を行った事業所数

220 事業所

注）平成30年度に1回以上相談・支援を行った実事業所数

（2）相談・支援件数（手段別）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①センターへの来所	6	15	22	58	101
②電話・Fax・e-mail	54	57	137	519	767
③企業訪問（職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む）	36	47	84	448	615
④その他 ※	8	17	11	88	124
合計	104	136	254	1,113	1,607

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①センターへの来所	14	4	2	38	58
②電話・Fax・e-mail	119	37	5	358	519
③企業訪問（職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む）	93	20	4	331	448
④その他 ※	14	5	1	68	88
合計	240	66	12	795	1,113

※「その他」の具体的な支援手段

ケース会議

（3）相談・支援件数（内容別）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①雇入れに関する相談・支援	74	48	135	755	1,012
②雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援（社内の対人関係・コミュニケーション、作業効率、作業態度等）	16	69	66	236	387
③雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	14	19	53	120	206
④障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0	0	0	0	0
⑤その他 ※	0	0	0	2	2
合計	104	136	254	1,113	1,607

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①雇入れに関する相談・支援	150	39	5	561	755
②雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援（社内の対人関係・コミュニケーション、作業効率、作業態度等）	55	9	3	169	236
③雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	34	18	4	64	120
④障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0	0	0	0	0
⑤その他 ※	1	0	0	1	2
合計	240	66	12	795	1,113

上記(2)と合計の数値が一致することを確認すること。

注) ①～⑤のいずれかに分類すること。複数項目に渡る場合は主なものに分類し、どれにも当てはまらない場合⑤その他とすること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。
内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。

※「その他」の具体的な支援内容

当センター主催の研修会会場となった場所が、登録者の実習先がある場所と同一だったため、間接的に実習者の状況を聞き取った

IV 関係機関との連携等

(1) 連絡会議の開催回数

※ケース会議やコーディネート等、個別の支援に関するものは(2) ケース会議等の実施件数に計上する。

① センターが主催

11回

② 他機関が主催するものへの参加

34回

(2) ケース会議等の実施件数

※個別の障害者の支援につながる連携を図った件数であり、他機関自体に対する相談・支援に限らない。

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
163	364	235	1,925	2,687

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
258	33	18	1,616	1,925

平成30年度における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告

〈集計期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日〉

(1) 運営法人名 社会福祉法人釧路のぞみ協会

(2) センター名 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん

I 追加調査

(1) 新規登録者を除く、平成30年開始時点（平成30年4月1日現在）の登録状況 (人)

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他の障害	合計
在職中	67	21	221	0	146	79	513
求職中	1	0	6	0	4	5	16
その他	32	13	98	0	128	84	342
合計	100	34	325	0	278	168	871

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	52	4	3	20	79
求職中	3	0	0	2	5
その他	50	5	2	27	84
合計	105	9	5	49	168

注1) 平成30年度開始時点(平成30年4月1日)時点で支援対象として登録している障害者の数を計上する。

注2) 平成30年度に新規登録した者(平成30年4月1日登録者)については「(2) 平成30年度中に新規に登録した支援対象者の内訳」に計上すること。

注3) 長期間支援を行っていない者、支援を必要としなくなった者、連絡がとれない者など、登録を取り消した者等は除く。

注4) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、別添「年次報告の記入に当たっての留意点」を確認すること。

(2) 平成30年度中に新規に登録した支援対象者数の内訳

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他の障害	合計
在職中	10	1	4	0	15	14	43
求職中	3	1	1	0	0	1	5
その他	11	2	34	0	15	24	84
合計	24	4	39	0	30	39	132

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	7	2	0	5	14
求職中	1	0	0	0	1
その他	15	1	2	6	24
合計	23	3	2	11	39

注1) 平成30年度中(平成30年4月1日～平成31年3月31日)に新規に登録した障害者の数の内訳を計上する。

注2) 年報(様式3-1)「I (2) 平成30年度中に新規に登録した障害者の数」の合計と一致すること。

注3) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、別添「年次報告等の記入に当たっての留意点」を確認すること。

Ⅱ 年次報告の補足調査

(1) 様式3-1(3) ハについて

- 様式3(3)ハ①②について、実際に配置している者の職名・担当業務
 (地方自治体からの補助による場合は、地方自治体の独自事業名を記載)
 ※行が不足する場合には、行の追加は行わず、別シート「補足様式」にて登録すること。

「①法人内の他業務と兼務で配置している者」の職名・業務

職名	担当業務	兼務業務	事業名

注1) 「担当業務」には、兼務しているセンター業務を記載。
 「兼務業務」には、兼務している法人業務を記載。

「②センター業務専任で配置している者」の職名・業務

職名	担当業務	事業名

注1) 「担当業務」には、担当しているセンター業務を記載。

(2) 様式3-1Ⅱ(8)について

- 「一般事業所への就職件数」のうち、ハローワークに求職申し込みを行っていた者の件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
一般 (30時間以上)	12	(2)	12	(0)	21	15	60
短時間① (20時間以上30時間未満)	6	(0)	16	(1)	7	2	31
短時間② (20時間未満)	0	(0)	0	(0)	1	2	3
合計	18	(2)	28	1	29	19	94

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	9	1	0	5	15
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	0	0	2	2
短時間② (20時間未満)	1	1	0	0	2
合計	10	2	0	7	19

注1) 年報(様式3-1)「Ⅱ(8)①一般事業所への就職件数」のうち、ハローワークに求職申し込みを行っていた者の数を記入すること。
 (ハローワークに求職申し込みを行っていれば、ハローワーク紹介、自己就職等就職の手段は選ばない。)

別紙 1

H30 年度 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

受託者名 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん

区分	計画内容	具体的実施状況
1 就業支援 の実施 (1) 相談・支援の実施	主任就業支援担当者 1 名、主任職場定着担当者 1 名、就業支援担当者 3 名、事務補助員 1 名を配置し、以下の業務を行う ○ 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。 ○ 地域における定着支援の中核として、企業等からの職場定着や雇用管理等についての相談に対する助言や支援策に対応した他の支援機関等とのコーディネートを行う ○ 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う ○ 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする ○ 障害者雇用支援者に関する情報の収集及び提供、障害者雇用支援者に対する研修等を行う。 ○ 職業的障害者特性を明らかにするための職業評価及び検査依頼に応えるため、検査器具を購入し職業評価及び器具検査を実施する ○ 職場定着を図るため、障害者が就職した企業を訪問し職場定着支援を実施する	主任就業支援担当者 1 名（濱淵 麻友）、主任職場定着担当者 1 名（高谷 さふみ）就業支援担当者 3 名（原田 千春・大水 賢憲、吉川 将人）を配置、次の支援を行った。 ○ 障がい者に対する相談・支援 ・ 登録者数 1,003 名 ・ 相談件数 10,051 件 （うち職場定着 1,281 件） ・ 就職件数 95 件 ・ 主任職場定着支援件数 185 件 ○ 事業主に対する相談支援 ・ 事業者数 220 事業所 ・ 相談支援件数 1,607 件 ○ 職場実習のあっせん件数 87 件 職業訓練あっせん件数 14 件 ○ 主な相談内容 対象障害者支援 ・ 就職したい ・ 職業の選択が出来ない ・ 職業評価をして欲しい ・ 疾患管理をしたい ・ キャリアアップをしたい ・ 対人関係が上手く行かない ・ 疾患との調整する方法を身につけたい ・ 定着に向けた調整 事業主支援 ・ 作業指導の仕方がわからない ・ 障害について理解していないので教えて欲しい ・ 雇用に関する助成金等の情報が欲しい ・ 新規雇い入れをしたい ・ 配置に関する適正をしりたい ・ 合理的配慮の提供義務について

(2) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施	○ 在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着を促進する（年4回）	○「第1回ふれん在職者交流会、グループ相談夕食会」 H30年6月14日 参加障害者人数 36名 ○「第2回ふれん在職者交流会、ワークライフバランスについて考えよう」 講師：釧路市立病院 臨床心理士 後藤 薫氏 H30年9月30日 参加障害者 11名 ○「第3回ふれん在職者交流会、相談会／餃子」 H30年12月15日 参加障害者 11名 ○「第4回ふれん在職者交流会、相談／会社を持って行くお弁当作り」 H30年3月24日 参加障害者 12名
(3) 就業支援担当者の研修等	○ 障害者職業総合センターにおける障害者就業・生活支援センター初任者研修を受講し、業務に必要な知識・スキルを習得する（就業支援担当者1名） ○主任職場適応担当者研修に参加し地域の職場定着支援に向け必要な事を理解し資質の向上を図る（主任職場定着担当1名）	○障害者職業総合センターにおける障害者就業・生活支援センター就業担当者研修（平成30年8月6日～10日、於千葉市障害者職業総合センター）に就業支援担当者1名出席し、就業支援に必要な基本的知識・スキルを学んだ。 ○主任職場適応担当者研修（平成31年2月18日、於中央労働委員会）に担当者1名が参加し職場適応担当者として必要なマネジメントスキルを学んだ。2月19日は、主任職場定着担当者勉強会に参加し定着担当者の役割についてディスカッションを行った。
2 関係機関との連絡会議の開催	○全国就業支援ネットワーク第20回定例研究・研修会に参加し必要とされる内容を学ぶ（就業担当者1名） ○ 障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う（主任職場定着就業支援担当者1名） ○都道府県就業・生活支援センター連絡会議（2回）に参加し現状と課題の整理を行いセンターの資質を向上させる（就業支援担当者1名）	○全国就業支援ネットワーク第20回定例研究・研修会（平成30年5月31日～6月3日、於、国分シビックセンター）担当者1名が参加し就業・生活支援センター業務で就業担当者が必要とされる内容を学んだ ○障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック連絡会議（平成30年11月20日～23日、於観光物産館アスパム）に主任職場定着支援担当者1名が出席し、精神・発達障害への就業定着支援について学び他のセンターとの交流・情報交換を行った。 ○都道府県障害者就業・生活支援センター連絡会議（平成30年6月22日～23日、於名寄市立大学1号館2F 121教室）に参加し精神障害者への見立てについて精神科の立場から現状と今後のあり方を学んだ。

		○第4回北海道障害者就業・生活支援センター連絡会議（平成30年11月1日、於 釧路市中部地区コミュニティセンター）を開催し就業・生活支援センター担当者が参加し就業・生活支援センターに求められていることや制度、現状について情報を共有した。 講師：馬場 正充 氏																		
○全国就業支援ネットワーク就業・生活支援センター連絡会議へ参加し現状と課題を整理する（就業担当者1名）	○全国就業支援ネットワーク第6回就業・生活支援センター事業をよりよく考えるためのフォーラム（平成31年1月31日～2月3日於、千葉教育会館）担当者1名に参加し就業・生活支援センターとしての役割について情報交換を行った。																			
○ 職業リハビリテーション学会に参加し対象者が就労場面で必要とされるリハビリテーションに必要な知識・スキルを習得する（就業担当者1名）	○第26回職業リハビリテーション研究実践発表会（平成30年11月7日～10日日於、東京ビックサイト）に就業担当者1名が参加し、各調査研究や実践活動の発表を通じ実践的な知識やスキルを学んだ。（他就業担当者4名が参加した）																			
	○北海道職業リハビリテーション学会、障がい者雇用・就労促進セミナー（平成30年8月23日～25日 於、北星学園大学）に担当者1名参加し地域の取り組みについて学んだ。（他就業担当者4名が参加した。）																			
○釧路市自立支援協議会、雇用・就労部会を市と共同開催し釧路地域の就労関係者との連携を強化する（年6回）	○釧路市自立支援協議会、雇用・就労部会は就業・生活支援センターの連絡会議を自立支援協議会に移行した経緯があり、連絡会議と共同開催している。 毎回、地域の就労支援の現状報告、課題の解決にむけてのグループ討議、事例検討など、行政、企業団体、ハローワーク、特別支援学校、職業訓練校、福祉サービス事業所が参加し実施している。 平成30年度の開催は以下の通り <table> <tr> <td>4月27日</td><td>参加人数</td><td>55名</td></tr> <tr> <td>7月6日</td><td>参加人数</td><td>49名</td></tr> <tr> <td>8月21日</td><td>参加人数</td><td>60名</td></tr> <tr> <td>10月30日</td><td>参加人数</td><td>57名</td></tr> <tr> <td>12月7日</td><td>参加人数</td><td>53名</td></tr> <tr> <td>2月26日</td><td>参加人数</td><td>55名</td></tr> </table>	4月27日	参加人数	55名	7月6日	参加人数	49名	8月21日	参加人数	60名	10月30日	参加人数	57名	12月7日	参加人数	53名	2月26日	参加人数	55名	
4月27日	参加人数	55名																		
7月6日	参加人数	49名																		
8月21日	参加人数	60名																		
10月30日	参加人数	57名																		
12月7日	参加人数	53名																		
2月26日	参加人数	55名																		

	○ 地域就労支援の強化を図るため支援者研修会及び雇用の促進、安定を目指した企業フォーラムを開催する（年４回）	○夢や希望を叶えるサポートプラン研修会開催 （平成30年６月22日於、釧路プリンスホテル、参加者74名）を開催しコミュニケーションを基本とした個別支援計画策定に関する手法学び対象障害者への相談・指導、の取り方について学んだ。 講師：土屋 徹氏 ○障がい者雇用ステップアップ企業セミナー（平成30年6月22日 於、釧路プリンスホテル 参加者36名）を開催し障害者雇用に関わっている企業・支援機関と基調講演・実践報告をヒントにグループワークを行い地域の障害者雇用における課題と解決方法について検討を行った。 講師：秦 政 氏 ○発達障がいのある人へのサポート研修会（平成30年7月22日 於、釧路プリンスホテル 参加者115名）を開催し先駆的な実践を学び、TTAPの活用方法、ESPIDDの活用方法やWAISの解釈の方法を学びアセスメントを分析し具体的な支援を展開することを学んだ 講師：梅永 雄二氏 倉本 義則氏 井原 佳代氏 高石 徳香氏 大澤 隆則氏 ○精神・発達障がいのある人への相談支援技法ワークショップ（平成30年11月18日 於、釧路プリンスホテル 参加者61名）認知行動療法に基づいた相談技法について学び自己決定を支える支援方法について学んだ 講師：土屋 徹氏
--	---	--